

Web⚡*Caster FT-STC-Kag*

詳細取扱説明書

このたびは、Web Caster FT-STC-Kagをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「詳細取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。



本商品のご使用にあたって

電波に関するご注意

無線LAN機器の電波に関するご注意

本商品をIEEE802.11b、IEEE802.11gでご利用時は、2.4GHz帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品をIEEE802.11aでご利用時は、5GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・強い電界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
 - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
 - ・異なる階の部屋どうし
- 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本商品を分解／改造すること

本商品に表示した 2.4 DS/OF 4 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz帯
DS/OF	変調方式	DSSSおよびOFDM方式
4	想定干渉距離	40m以下
	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です！)

無線LANでは、LANケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報またはメールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウイルス等を流し、データやシステムを破壊する(破壊)
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行ってから本商品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、ご利用開始直後の状態においては、セキュリティに関する設定がほどこされていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定等について、ご不明な点があれば、巻末記載のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本商品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

本商品のご使用にあたって

ご使用にあたって

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がテレビやラジオに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品（取扱説明書、ソフトウェアを含む）は日本国内向け仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。また海外での保守サービスおよび技術サービスは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 取扱説明書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 取扱説明書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- 取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品に搭載されているソフトウェア等の解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニア等）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

- * Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * Windows Vista®は、Microsoft® Windows Vista® Operating Systemの略です。
本書では、Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimateを、Windows Vista®と表記しています。
- * Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。
- * Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- * Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- * Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品のCD-ROMは日本語OS以外の動作保証はしていません。

付属品のCD-ROMはソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。

また、ソフトウェアのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害については当社は一切の責任を負いません。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 アドバイス	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

本商品のご使用にあたって

⚠ 警 告

こんなときには

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品を接続している機器（パソコンやWeb Caster V120）の電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療用や極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱をまねくおそれがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電・故障の原因となります。

その他注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療用や高い信頼性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に混乱をまねくおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注 意

設置場所

- 屋外、直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの暖房機のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 取扱説明書に従って装着してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

本商品のご使用にあたって



お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い電界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・電子機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器のそばなど）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末間で電波の届く範囲は見通しで100m程度（IEEE802.11a通信時は50m程度）です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 動作中に外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきしてください。

無線LANに関する注意

- 無線LAN接続は、通信速度がパソコン（LAN）ポートに接続した場合と比べ遅くなることがあります。
- 無線LANの速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。
- 最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジ等の電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況等）により大きく変動します。
- IEEE802.11aの屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータはバックアップを取り、元データと照合してください。

マニュアルの読み進めかた

本商品の導入手順

次の手順で本商品を導入してください。

使用前に注意事項を確認しましょう

- 「本商品のご使用にあたって」 (→P2)



付属品を確認しましょう

- 「1. お使いになる前に」 (→P16)



本商品を準備しましょう

- 「2. Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール」 (→P20)



パソコンの設定をしましょう

- 「3. パソコンの設定」 (→P34)



インフラストラクチャモードで使う



アドホックモードで使う



インターネットへ接続しましょう

- 「4. インフラストラクチャモードで使う」 (→P52)



アドホックネットワークへ接続しましょう

- 「5. アドホックモードで使う」 (→P72)



セキュリティを強化しましょう

- 「6. セキュリティの設定について」 (→P86)



※ 本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSのバージョンによって異なります。

マニュアルの読み進めかた

本商品に付属のCD-ROMについて

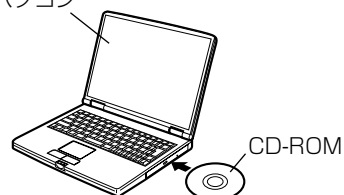
付属のCD-ROMには下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、「最初にお読み下さい」を確認してください。

- ① ドライバ/ユーティリティ (Windows Vista®はドライバのみ)
- ② 取扱説明書
- ③ 詳細取扱説明書

CD-ROMの使い方

1 付属の「Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

Windows®パソコン



Windows Vista®をご使用の場合

自動再生画面が表示された場合は、プログラムのインストール/実行に表示されたプログラムをクリックします。

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

2 表示される画面に従ってクリックする

(使用上のご注意)

- 自動起動しない場合には、以下の操作を行います。
 - ① [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
※Windows Vista®の場合
[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROMドライブ名と¥KagSetup.exeを入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROMドライブ名がeの場合、e：¥KagSetup.exe)
- 「Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティ」のインストール中は、パソコンからCD-ROMを取り出さないでください。
- Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール、アンインストールを実行する場合は、「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログインしてください。
- ドライバとは、本商品をパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。
ユーティリティとは、SSIDや暗号化等の無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。
Windows Vista®をご使用の場合はドライバのみインストールします。無線通信の設定はOSのワイヤレスネットワーク接続機能を使用して行います。

Windows® Me/98SE をご使用の場合

メニュー画面からは、取扱説明書のみ使用可能で、ドライバ/ユーティリティのインストール方法につきましては、「Windows® Me/98SEの場合」(→P26)を参照してください。

CD-ROMの動作環境

- ・ Windows Vista®またはWindows®XP/2000/Me/98SEが正しく動作し、CD-ROMドライブが使用できること
- ・ 推奨環境
ハードディスクの空き容量：100MB以上を推奨
Windows®の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
1024×768 High-Color以上表示可能なカラーモニタ

目次

本商品のご使用にあたって.....	2
電波に関するご注意.....	2
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意.....	3
ご使用にあたって.....	4
安全に正しくお使いいただくために.....	5
マニュアルの読み進めかた.....	9
本商品の導入手順.....	9
本商品に付属のCD-ROMについて.....	10
CD-ROMの使い方.....	10
目次.....	12
1 お使いになる前に	
1 セットを確認してください.....	16
2 各部の名前とはたらき.....	17
3 あらかじめ確認してください.....	18
本商品の概要.....	18
本商品の動作条件.....	18
2 Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール	
1 インストールの流れ.....	20
本商品で無線LAN接続する場合.....	20
2 インストール.....	22
Windows Vista®の場合.....	22
Windows® XP/2000/Me/98SEの場合.....	25
3 インストール完了の確認.....	28
Windows Vista®の場合.....	28
Windows® XP/2000/Me/98SEの場合.....	30
3 パソコンの設定	
1 Windows Vista®の場合.....	34
インターネットプロパティの設定.....	34
ネットワークの設定.....	36
2 Windows® XPの場合.....	38
インターネットプロパティの設定.....	38
ネットワークの設定.....	40
3 Windows® 2000の場合.....	42
インターネットプロパティの設定.....	42
ネットワークの設定.....	44
4 Windows® Me/98SEの場合.....	46
インターネットプロパティの設定.....	46
ネットワークの設定.....	48
4 インフラストラクチャモードで使う	
1 インフラストラクチャ設定の流れ.....	52
2 インターネットへの接続例.....	53

3 無線LANアクセスポイントへの無線接続	54
Windows Vista®の場合	54
無線ネットワーク名の新規登録	54
無線LANアクセスポイントを検索して接続	58
Windows® XP/2000/Me/98SEの場合	60
無線ネットワーク名の新規登録	60
無線LANアクセスポイントを検索して接続	63
4 インターネット接続	65
Windows Vista®の場合	65
Windows® XP/2000/Me/98SEの場合	68
5 アドホックモードで使う	
1 アドホック設定の流れ	72
2 アドホックネットワークの接続例	73
3 アドホックネットワークへの無線接続	74
Windows Vista®の場合	74
アドホックネットワークを構築する (1台目)	74
アドホックネットワークを構築する (2台目以降)	78
Windows® XP/2000/Me/98SEの場合	80
アドホックネットワークを構築する (1台目)	80
アドホックネットワークを構築する (2台目以降)	83
6 セキュリティの設定について	
1 セキュリティ設定の流れ	86
2 セキュリティの設定	87
暗号化設定 (Windows Vista®の場合)	87
暗号化設定 (Windows® XP/2000/Me/98SEの場合)	89
7 本商品の取り外し	
1 本商品取り外しの流れ	92
2 本商品の取り外し	93
電源を切断して取り外す	93
電源を入れたまま取り外す	94
Windows Vista®の場合	94
Windows® XP/2000/Me/98SEの場合	95
8 アンインストール	
1 アンインストールの流れ	98
2 アンインストール	99
ドライバのアンインストール (Windows Vista®の場合)	99
ドライバとユーティリティのアンインストール (Windows® XP/2000/Me/98SEの場合)	100
9 「まるごと設定ツール」で設定する	
1 「まるごと設定ツール」で設定する場合の流れ	102
2 無線LAN接続の準備	103
Windows Vista®の場合	103
Windows® XP/2000の場合	105
3 無線LANの設定	107

目 次

10 トラブルシューティング

- 1 インストールに関するトラブル.....110
 - 2 ご利用開始後のトラブル111
-

11 付 録

- 1 「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の使いかた116
 - アイコンの表示と状態.....116
- 2 用語集125
 - 無線LAN（IEEE802.11a/b/g）について125
 - TCP/IPについて127
- 3 仕様一覧130
- 4 設定記入シート.....131
 - ワイヤレスネットワークの設定.....131



お使いになる前に

- 1 セットを確認してください……16
- 2 各部の名前とはたらき……17
- 3 あらかじめ確認してください……18

お使いになる前に

1 セットを確認してください

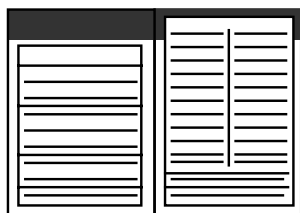
本商品には、商品本体および付属品が入っています。
まずこれらがすべてそろっているかどうか確認してください。
万一、セットに足りないものがあったり、取扱説明書がうまく見られない場合などは、当社のサービス取扱所までご連絡ください。

■ 本体



Web Caster FT-STC-Kag (1枚)

■ 付属品



Web Caster FT-STC-Kag取扱説明書
(Windows®XP/2000/Me/98SE版) (1 枚)
Web Caster FT-STC-Kag取扱説明書
(Windows Vista®版) (1 枚)



Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROM
(1枚)

無線LAN機器の電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。

- 2) 万一、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合に、速やかに復旧措置を講ずる又は電波の発生を停止したとき、取扱説明書裏表記載のお願いに合わせ先へご連絡頂き、通信記録のために知照等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3) 万一、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などにおきかた、このことが起きた場合には、取扱説明書裏表記載のお願いに合わせ先へご連絡下さい。

無線LAN機器の
電波に関するご注意シール（1枚）

NTT通信機器お取扱相談
センタシール（1枚）



安全にお使いいただくために(1枚)

1

お使いになる前に

2 各部の名前とはたらき



①PCカードコネクタ

パソコンのPCカードスロット、Web Caster V120の拡張カードスロットに差し込み、接続します。

②MODEランプ／③ACTランプ

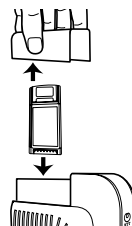
MODEランプ	ACTランプ	本商品の状態
緑点灯	青点滅	IEEE802.11b,g通信中
青点灯	青点滅	IEEE802.11a通信中
緑点灯	消灯	IEEE802.11b,g通信待機中
青点灯	消灯	IEEE802.11a通信待機中
消灯	青点滅	アクセスポイント検索中 ※ 検索の間隔は、パソコンやOSによって異なります。
消灯	消灯	本商品に電源が入っていないか、無線接続が確立されていない場合（定期的なアクセスポイント検索の間の待機状態）。

STOP お願い

- 1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。
下記のような組み合わせで使用しないでください。
 - ・ 本商品を複数同時に使用する
 - ・ 本商品と他の無線LANカードを同時に使用する
 - ・ 本商品と他のネットワークデバイス（LANカード、LANボード）を同時に使用する
 - ・ 本商品とパソコンに内蔵の無線LAN機能などを同時に使用する
- 本商品と無線LANアクセスポイントの無線LAN設定にLANケーブルを使用する場合は、設定後にLANケーブルを外してください。
- LANカードまたはLANボードの機能を停止させる場合は、「本商品で無線LAN接続する場合」の「LANカードまたはLANボードの機能を停止させるには」（→P21）をご覧ください。
- PCカードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。
- IEEE802.11aの通信とIEEE802.11b、IEEE802.11g通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

お知らせ

Web Caster V120本体を押さえながら無線カードスロットカバーを右図のように中央付近でつかみ、矢印方向に引っ張り取り外し、Web Caster FT-STC-Kag無線LANカードを装着することで、Web Caster V120に無線LAN機能を追加することができます。



3 あらかじめ確認してください

本商品の概要

本商品はIEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11gに準拠した無線LANを利用することができます。

本商品の動作条件

■対応パソコン

Card Bus対応のPCカードスロットおよびCD-ROMドライブが使用できるDOS/Vパソコン

※本商品はMacintosh®には対応していません。

※5V仕様のPCカードスロット（Type II）には対応していません。

■Windows Vista®およびWindows® XP/2000/Me/98SEに対応

- ・ 本商品はWindows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimateに対応しています。
- ・ 本商品をパソコン上で動作させるためには、ドライバ/ユーティリティをインストールする必要があります。ドライバとは、本商品をパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。ユーティリティとは、SSIDや暗号化等の無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。
- ・ Windows Vista®およびWindows® XP/2000の場合は、「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンすると、正常にインストールできません。
- ・ Windows® XP/2000の場合は、Web Caster FT-STC-Kagユーティリティの機能を使用して無線LANの設定、状態表示を行う場合、「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンした場合、無線の通信は可能ですが、設定、状態表示を行うことはできません。
- ・ Windows Vista®をご使用の場合はドライバのみインストールします。無線通信の設定はOSのワイヤレスネットワーク接続機能を使用して行います。

■Webブラウザ

Webブラウザは、下記のバージョンに対応しています。

Microsoft® Internet Explorer5.5（SP2）、6.0、7.0

■推奨環境

ハードディスクの空き容量：100MB以上を推奨

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

1024×768High-Color以上表示可能なカラーモニタ



Web Caster FT-STC-Kag ドライバ/ユーティリティのインストール

- 1 インストールの流れ……20
 - 2 インストール……22
 - 3 インストール完了の確認……28

2

Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール

1 インストールの流れ

ここでは、本商品を使用するために必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

STOP お願い

指示があるまではカードをパソコンのPCカードスロットへ挿入しないでください。

インストールは次の手順で行ってください。

Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROMからインストールする

- インストール
Windows Vista® の場合 (→P22)
Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 (→P25)



正しくインストールできているか確認する

- インストール完了の確認
Windows Vista®の場合 (→P28)
Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 (→P30)

本商品で無線LAN接続する場合

本商品をパソコンに接続するときは、①インストール→②無線LANの設定の順で設定を行います。

本商品を接続できるのはWindows Vista®およびWindows® XP/2000/Me/98SEのみです。Macintosh®ではご利用になれません。

本商品は、Card Bus準拠のPCカードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

STOP お願い

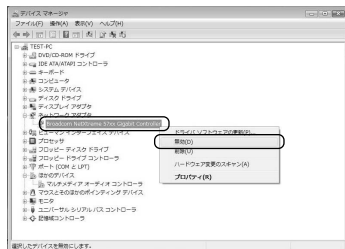
- 本商品はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを差し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- 無線LAN内蔵パソコンに本商品を装着して使う場合は、必ず「デバイスマネージャ」の「ネットワークアダプタ」にある内蔵無線アダプタを「無効」に設定してからご使用ください。
- Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティをインストールする前に誤って、本商品をパソコンに挿入して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

LANカードまたはLANボードの機能を停止させるには

LANインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないと本商品が使用できない場合があります。以下の操作でLANカードまたはLANボード機能を停止させてから、Web Caster FT-STC-Kagユーティリティで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

<Windows Vista®の場合>

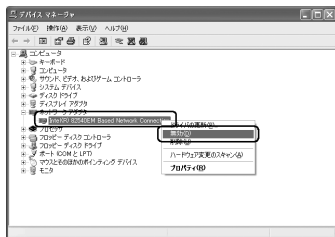
- ① [スタート] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システムとメンテナンス] をクリックする
- ③ [システム] をクリックする
- ④ [デバイスマネージャ] をクリックする
※ ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]をクリックする
- ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ 停止するネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効]を選択する



- ⑦ [はい] をクリックする

<Windows® XPの場合>

- ① [スタート] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ③ [システム] アイコンをクリックする
- ④ [ハードウェア] タブをクリックする
- ⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする
- ⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑦ 停止するネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効]を選択する



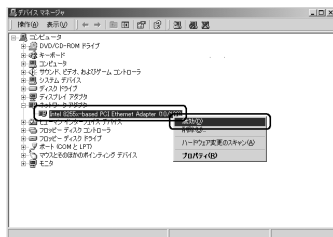
- ⑧ [はい] をクリックする

<Windows® XP クラシック表示の場合>

- ① [スタート] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システム] アイコンをダブルクリックする
- ③ [ハードウェア] タブをクリックする
- ④ [デバイスマネージャ] をクリックする
- ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ 停止するネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効]を選択する
- ⑦ [はい] をクリックする

<Windows® 2000 Professionalの場合>

- ① [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システム] アイコンをダブルクリックする
- ③ [ハードウェア] タブをクリックする
- ④ [デバイスマネージャ] をクリックする
- ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ 停止するネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効]を選択する



- ⑦ [はい] をクリックする

<Windows® Me/98SEの場合>

- ① [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システム] アイコンをダブルクリックする
- ③ [デバイスマネージャ] タブをクリックする
- ④ [ネットワーク アダプタ] をダブルクリックする
- ⑤ 停止するネットワークアダプタをダブルクリックする
- ⑥ [デバイスの使用] の下にある [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] チェックボックスをオンにして、[OK] をクリックする

2 インストール

Windows Vista®の場合

本商品をパソコンで使用するには、「ドライバ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストールは、本商品に付属の「Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROM」をパソコンにセットして行います。

STOP お願い

- 本商品をお使いになるパソコンに、他の無線LANカードのソフトウェアがインストールされている場合は、それらを削除（アンインストール）してから、本商品のソフトウェアをインストールしてください。
- 本商品をお使いになるパソコンに無線LAN機能が内蔵されている場合、インストールの前に内蔵無線LAN機能を無効にしてください。内蔵無線LAN機能を無効にする方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本商品をお使いになるパソコンにBluetooth™ 機能等、本商品と同じ周波数帯を使用する機能が内蔵されている場合、パソコンのBluetooth™ 機能を無効にするか、本商品で使用する無線動作モードを「IEEE802.11a」に設定してください。接続する無線LAN機器の設定もIEEE802.11aにあわせてください。
- 「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンし、インストールおよび設定を行ってください。
- インストール時に起動中のソフトウェアがある場合は、あらかじめデータ等を保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
- インストール中に「キャンセル」ボタンが表示されますが、クリックしないでください。

1 パソコンを起動する

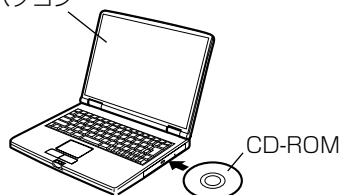
この時点では、本商品をパソコンのPCカードスロットに挿入しないでください。

2 付属の「Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

※自動再生画面が表示された場合は、プログラムのインストール/実行に表示されたプログラムをクリックします。

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

Windows®パソコン



3 メニュー画面が表示されたら、 「Web Caster FT-STC-Kag 専用ドライバのインストール」 をクリックする



4 セットアップ画面が表示される



5 インストールが終了すると、右 の画面が表示される

[完了] をクリックします。



2

Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール

2 インストール

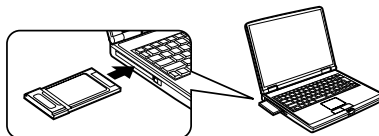
6 メニュー画面が表示される

[終了] をクリックします。

終了の確認画面が表示されるので、[はい] をクリックします。



7 パソコンに無線LANカードを挿入する



2

Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール

2 インストール

Windows®XP/2000/Me/98SEの場合

本商品をパソコンで使用するには、「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストール方法は、本商品に付属の「Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROM」をパソコンにセットして行います。

本商品に付属の「Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROM」では、「ドライバ」および「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」を同時にインストールします。

ここでは、Windows® XPのパソコンにWeb Caster FT-STC-Kag（本商品）を接続してご使用になる場合を例に説明しています。

Windows® Me/98SEのパソコンをお使いの場合は、「Windows® Me/98SEの場合」（→P26）を参照してください。

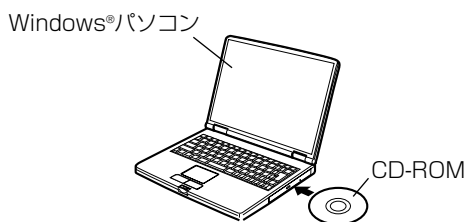
STOP お願い

- 本商品をお使いになるパソコンに、他の無線LANカードのソフトウェアがインストールされている場合は、それらを削除（アンインストール）してから、本商品のソフトウェアをインストールしてください。
- 本商品をお使いになるパソコンに無線LAN機能が内蔵されている場合、インストールの前に内蔵無線LAN機能を無効にしてください。内蔵無線LAN機能を無効にする方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本商品をお使いになるパソコンにBluetooth™ 機能等、本商品と同じ周波数帯を使用する機能が内蔵されている場合、パソコンのBluetooth™ 機能を無効にするか、本商品で使用する無線動作モードを「IEEE802.11a」に設定してください。接続する無線LAN機器の設定もIEEE802.11aにあわせてください。
- Windows® XP/2000の場合は、「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンし、インストールおよび設定を行ってください。
- インストール時に起動中のソフトウェアがある場合は、あらかじめデータ等を保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
- インストール中に「キャンセル」ボタンが表示されますが、クリックしないでください。

1 パソコンを起動する

この時点では、本商品をパソコンのPCカードスロットに挿入しないでください。

2 付属の「Web Caster FT-STC-Kag専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする



2

Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール

2 インストール

3 メニュー画面が表示されたら、「Web Caster FT-STC-Kag専用ドライバ/ユーティリティのインストール」をクリックする



Windows® Me/98SEの場合

Windows® Me/98SEをご利用のお客様は、下記の手順でインストールしてください。

- ① メニュー画面が表示されたら、[終了]をクリックします。終了の確認画面が表示されるので、[はい]をクリックします。



※ 上の画面からはインストールできませんので、手順②に進んでください。

- ② デスクトップにある「マイコンピュータ」をダブルクリックして、マイコンピュータの内容を表示します。

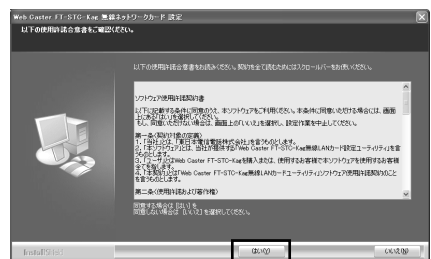


- ※ マイコンピュータがデスクトップ上にない場合、お使いのパソコンの取扱説明書等をご参照ください。
- ③ 「FT-STC-Kag」アイコンを右クリックし、「開く」をクリックします。
 - ④ 「KagSetup98Me.exe」をダブルクリックすると、セットアップ画面が表示されます。以降は、4→5→7の手順で行ってください。

※ Windows® 98SEをご利用の場合、認証プロトコルの追加が必要になります。追加する手順についてはP27をご参照ください。

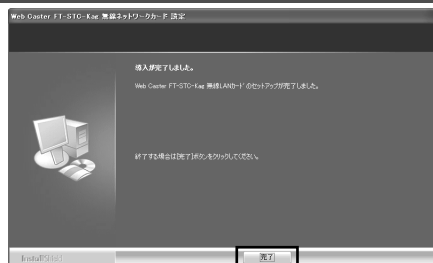
4 セットアップ画面が表示された後、「使用許諾契約書」画面が表示される

内容に同意する場合は、[はい] をクリックします。インストールが開始されます。



5 インストール完了

インストールが終了すると、右の画面が表示されます。
[完了] をクリックします。



6 メニュー画面が表示される

[終了] をクリックします。
終了の確認画面が表示されるので、[はい] をクリックします。



7 パソコンに無線LANカードを挿入する

お知らせ

ドライバとは、本商品をパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。ユーティリティとは、SSIDまたは暗号化等の無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。本商品のユーティリティの名称は、「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」です。



Windows® 98SEご利用の場合の認証プロトコルのインストール方法について

※ご利用中のパソコンによっては、Windows®のCD-ROMをセットするようにメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ① [マイコンピュータ] をダブルクリックします。
- ※ マイコンピュータがデスクトップ上にない場合、お使いのパソコンの取扱説明書等をご参照ください。
- ② (C:)をダブルクリックします。
(C:)は、例です。[Program Files] フォルダのあるドライブをダブルクリックしてください。
- ③ [Program Files] をダブルクリックします。

- ④ [Web Caster FT-STC-Kag] をダブルクリックします。
- ⑤ [Web Caster FT-STC-Kag 無線LAN] をダブルクリックします。
- ⑥ [Installer] をダブルクリックします。
- ⑦ [Win9x] をダブルクリックします。
- ⑧ [Aegis2.exe] をダブルクリックします。
- ⑨ 「AEGIS Protocol Installation-windows98」の画面が表示されますので、Installをクリックします。
- ⑩ 「You must REBOOT the system.」が表示されましたらパソコンを再起動してください。

2

Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール

3 インストール完了の確認

Windows Vista®の場合

ここでは、ドライバが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。

※インストール完了の確認は、パソコンに無線LANカードを挿入した状態で行ってください。

1 【スタート】 - 【コントロールパネル】の順にクリックする



2 【システムとメンテナンス】 - 【システム】の順にクリックする

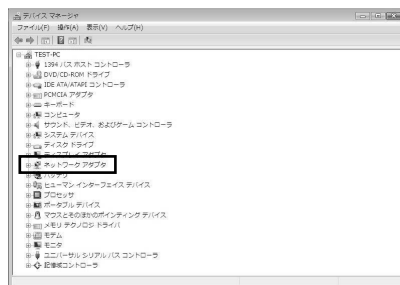
3 【デバイスマネージャ】をクリックする

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。



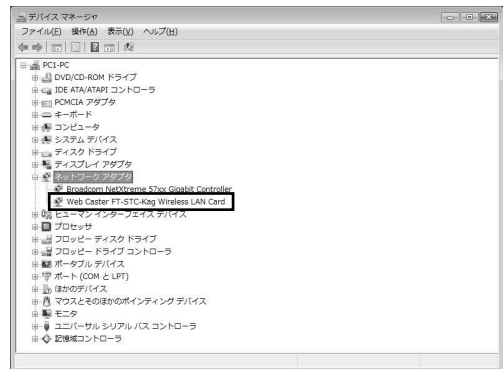
4 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックする

「Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card」が表示されます。



5 「Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card」をダブルクリックする

【Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Cardのプロパティ】画面が表示されます。



6 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する

これで、インストールの確認は終了です。



7 [OK] をクリックする

2

Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール

3 インストール完了の確認

Windows®XP/2000/Me/98SEの場合

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。

※インストール完了の確認は、パソコンに無線LANカードを挿入した状態で行ってください。

1 【スタート】 - 【コントロールパネル】の順にクリックする

ショートカットメニューが表示されます。



2 【パフォーマンスとメンテナンス】アイコン- 【システム】アイコンの順にクリックする

【システムのプロパティ】画面が表示されます。

Windows® XP クラシック表示、Windows® 2000/Me/98SEの場合
【システム】アイコンをダブルクリックします。

3 【ハードウェア】タブをクリックする

Windows® Me/98SEの場合、表示されません。手順4に進んでください。

4 【デバイスマネージャ】をクリックする

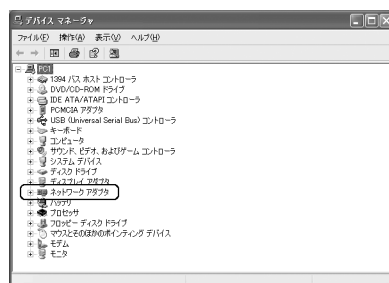
【デバイスマネージャ】画面が表示されます。



Windows® Me/98SEの場合
【デバイスマネージャ】タブをクリックします。

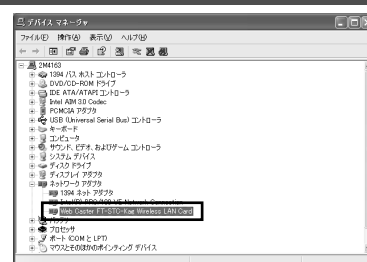
5 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックする

「Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card」が表示されます。



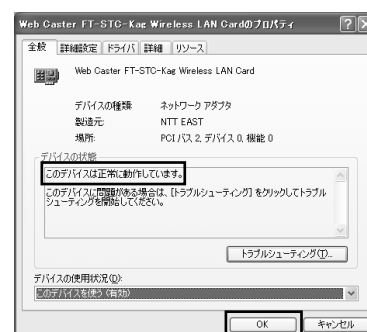
6 「Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card」をダブルクリックする

【Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Cardのプロパティ】画面が表示されます。



7 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する

表示されていない場合は、【トラブルシューティング】をクリックして、画面の指示に従って対処してください。これで、インストールの確認は終了です。



8 【OK】をクリックする

Memo

3

パソコンの設定

1 Windows Vista®の場合……34

2 Windows® XPの場合……38

3 Windows® 2000の場合……42

4 Windows® Me/98SEの場合……46

1 Windows Vista®の場合

インターネットプロパティの設定

Bフレッツまたはフレッツ・ADSL 接続でインターネットに今まで接続されていた場合は、「ネットワークの設定」に進んでください。(→P36)

1 「コントロールパネル」を表示する

「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット」を表示する

「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット」をクリックします。



3 「インターネットオプション」を表示する

「ネットワークとインターネット」の「インターネットオプション」をクリックします。



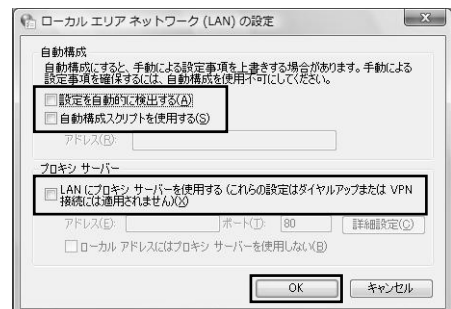
4 「接続」を設定する

- ① 「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。
- ② 「ダイヤルしない」をクリックします。
「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
- ③ 「LANの設定」をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する

- ① 「自動構成」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。
- ② 「プロキシサーバー」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、チェックを外してください。
- ③ 「OK」をクリックします。
「インターネットのプロパティ」の画面に戻ります。
- ④ 「OK」をクリックします。
インターネットのプロパティの設定はこれで終了です。



お知らせ

- Windows Vista®ではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この詳細取扱説明書での画面では通常表示モードを前提に記述しています。
- Internet Explorer 7.0がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

1 Windows Vista®の場合

ネットワークの設定

1 「ネットワークとインターネット」を表示する

「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット」をクリックします。

2 「ネットワークと共有センター」を表示する

「ネットワークとインターネット」の「ネットワークと共有センター」をクリックします。



3 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」を表示する

「ネットワークと共有センター」の「ネットワーク接続の管理」をクリックし、該当する「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。



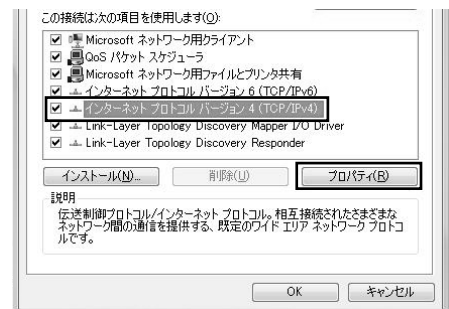
アドバイス

- 「ネットワーク接続」の「ブロードバンド」の欄に、PPPoE 設定がされている場合
本商品でADSLなどに接続するときは利用しません。既定の接続を解除してください。
PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックします。(例では、「マイISP」となっています)

4 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を表示する

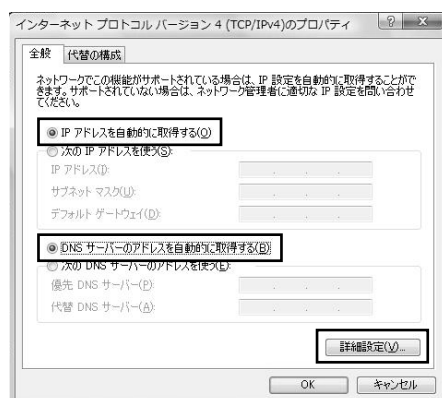
- ①「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択します。
- ②「プロパティ」をクリックします。

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。



5 IPアドレスとDNSを設定する

- ① 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。
- ② 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。
- ③ IPアドレスとDNSの設定をしたら「詳細設定」をクリックします。



6 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする

「TCP/IP詳細設定」の「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



7 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の [OK] をクリックする

8 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする

3

パソコンの設定

2 Windows® XPの場合

本書ではWindow® XPの通常の画面イメージで説明しています（画面例はInternet Explorer6.0 です）。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

Bフレッツまたはフレッツ・ADSL接続でインターネットに今まで接続されていた場合は、「ネットワークの設定」に進んでください。（→P40）

1 「コントロールパネル」を表示する

「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する

「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

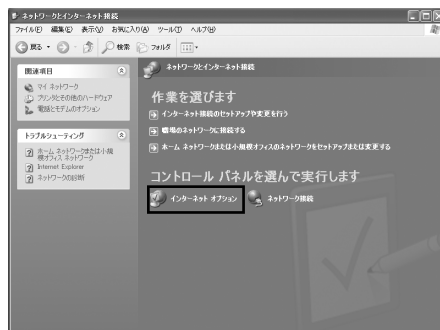
Windows® XPクラシック表示の場合
手順3に進んでください。



3 「インターネットオプション」を表示する

「ネットワークとインターネット接続」の「インターネットオプション」をクリックします。

Windows® XPクラシック表示の場合
「コントロールパネル」の「インターネットオプション」をダブルクリックします。



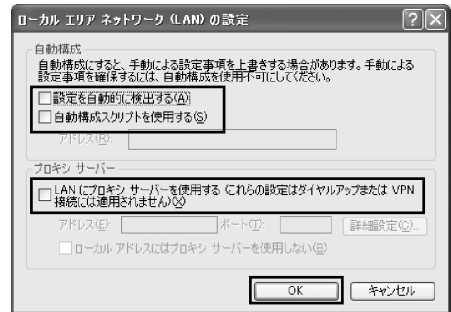
4 「接続」を設定する

- ① 「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。
- ② 「ダイヤルしない」をクリックします。
「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
- ③ 「LANの設定」をクリックします。



5 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する

- ① 「自動構成」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。
- ② 「プロキシサーバー」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、チェックを外してください。
- ③ 「OK」をクリックします。
「インターネットのプロパティ」の画面に戻ります。
- ④ 「OK」をクリックします。
インターネットのプロパティの設定はこれで終了です。



お知らせ

- Windows® XPではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この詳細取扱説明書での画面では通常表示モードを前提に記述しています。
- Internet Explorer5.5（SP2）、6.0、7.0がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。

2 Windows® XPの場合

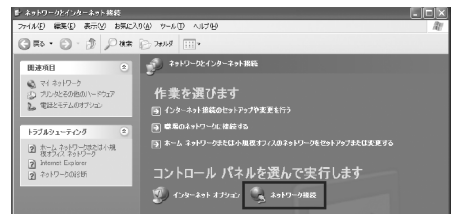
ネットワークの設定

1 「ネットワークとインターネット接続」を表示する

「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

2 「ネットワーク接続」を表示する

「ネットワークとインターネット接続」の「ネットワーク接続」をクリックします。



3 「ワイヤレスネットワーク接続の状態」を表示する

「LANまたは高速インターネット」内の「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。



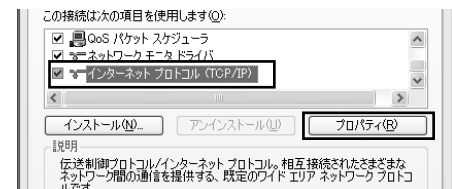
アドバイス

- 「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE設定がされている場合
本商品でADSLなどに接続するときは利用しません。既定の接続を解除してください。
PPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックします。

4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ」を表示する

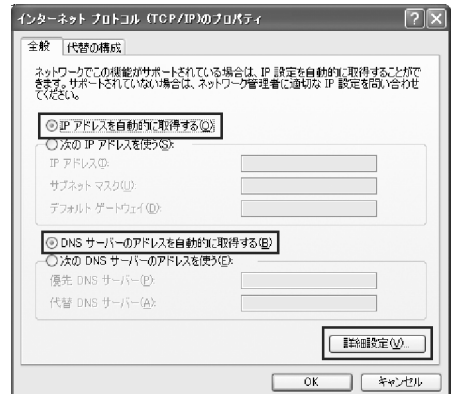
- ① 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。
- ② 「プロパティ」をクリックします。

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。



5 IPアドレスとDNSを設定する

- ① 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。
- ② 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。
- ③ IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



6 DHCP設定を確認し、[OK] をクリックする

「TCP/IP詳細設定」の「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



7 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」の [OK] をクリックする

8 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の [閉じる] をクリックする

3 Windows® 2000の場合

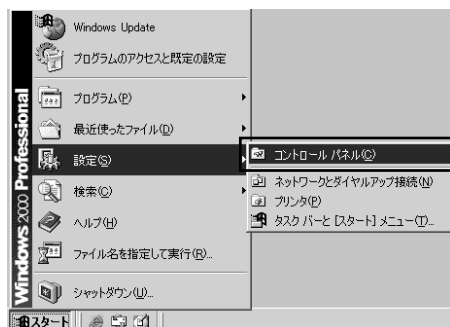
お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

Bフレッツまたはフレッツ・ADSL接続でインターネットに今まで接続されていた場合は、「ネットワークの設定」に進んでください。(→P44)

1 「コントロールパネル」を表示する

Windows® 2000を起動し、「スタート」メニューから「設定」 - 「コントロールパネル」をクリックします。



2 「インターネットのプロパティ」を表示する

「コントロールパネル」から「インターネットオプション」のアイコンをダブルクリックします。

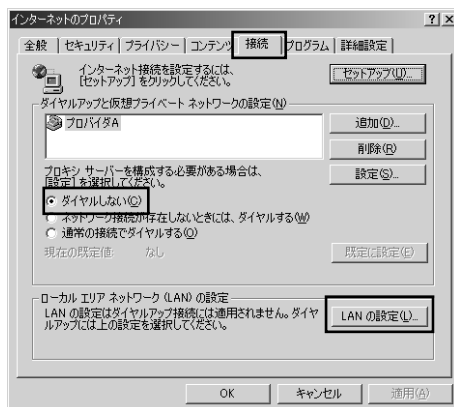


お知らせ

- Internet Explorer 5.5 (SP2)、6.0がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。

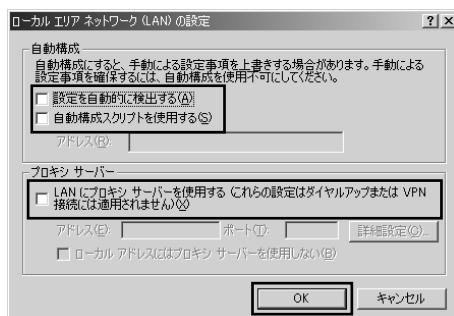
3 「接続」を設定する

- ① 「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。
- ② 「ダイヤルしない」をクリックします。
「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
- ③ 「LANの設定」をクリックします。



4 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する

- ① 「自動構成」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。
- ② 「プロキシサーバー」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、チェックを外してください。
- ③ 「OK」をクリックします。
「インターネットのプロパティ」の画面に戻ります。
- ④ 「OK」をクリックします。
インターネットのプロパティの設定はこれで終了です。



ネットワークの設定

1 「コントロールパネル」を表示する

「スタート」メニューから「設定」-「コントロールパネル」をクリックします。

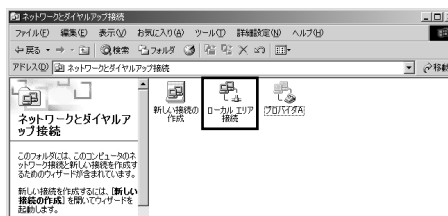
2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を表示する

「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。



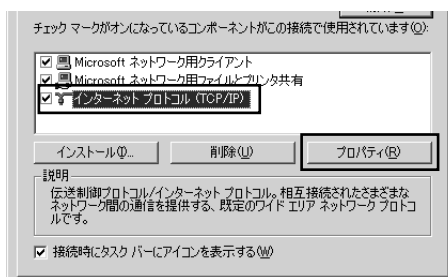
3 「ローカルエリア接続」を表示する

「ネットワークとダイヤルアップ接続」から「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックします。



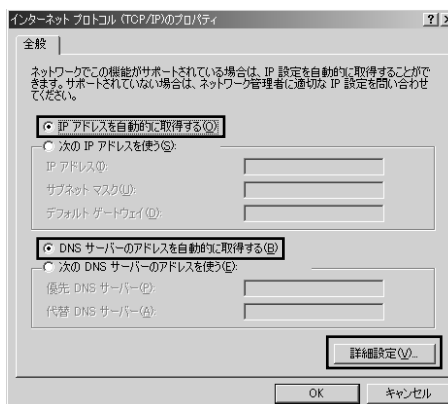
4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ」を表示する

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



5 IPアドレスとDNSを設定する

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。

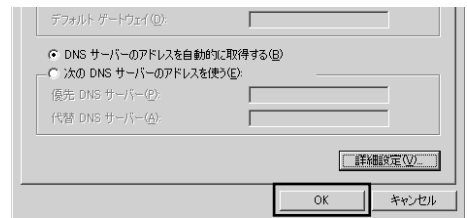


6 DHCP設定を確認し、「OK」をクリックする

「TCP/IP詳細設定」の「IP設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP有効」と表示されているか確認します。



7 「インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ」の【OK】をクリックする



8 「ローカルエリア接続のプロパティ」の【OK】をクリックする

4 Windows® Me/98SEの場合

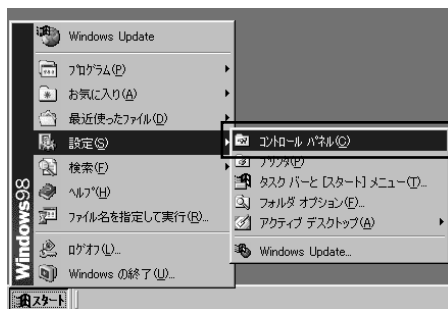
お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

インターネットプロパティの設定

Bフレッツまたはフレッツ・ADSL接続でインターネットに今まで接続されていた場合は、「ネットワークの設定」に進んでください。(→P48)

1 「コントロールパネル」を表示する

「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。



2 「インターネットのプロパティ」を表示する。

「コントロールパネル」から「インターネットオプション」のアイコンをダブルクリックします。



お知らせ

- Internet Explorer 5.5 (SP2)、6.0がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。

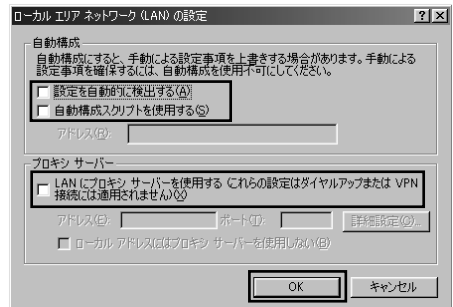
3 「接続」を設定する

- ① 「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。
- ② 「ダイヤルしない」をクリックします。
「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。
- ③ 「LANの設定」をクリックします。



4 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を設定する

- ① 「自動設定」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。
- ② 「プロキシサーバー」のチェックを外します。
チェックがついている場合は、チェックを外してください。
- ③ 「OK」をクリックします。
「インターネットのプロパティ」の画面に戻ります。
- ④ 「OK」をクリックします。
インターネットのプロパティの設定はこれで終了です。



ネットワークの設定

1 「コントロールパネル」を表示する

「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ネットワーク」を表示する

「コントロールパネル」から「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックします。

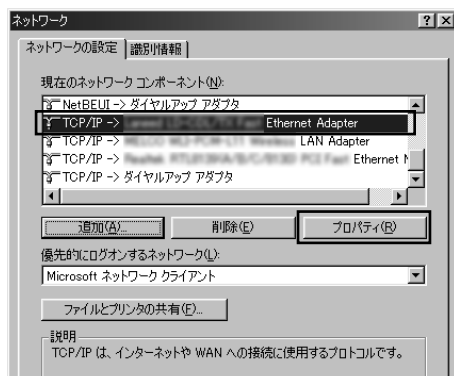
アドバイス

- 「コントロールパネル」に「ネットワーク」のアイコンが表示されていない場合は、画面に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。



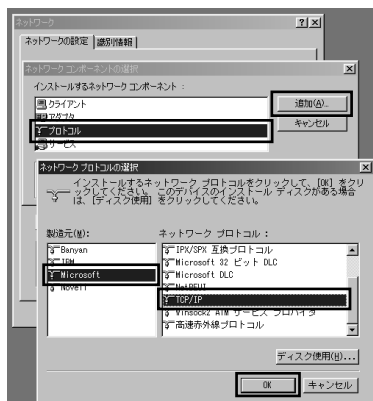
3 TCP/IPのプロパティを表示する

「現在のネットワークコンポーネント」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LANドライバ名>」という項目を選択し、「プロパティ」をクリックします。



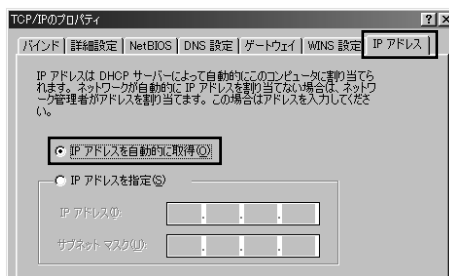
アドバイス

- 一覧に「TCP/IP」あるいは「TCP/IP -> <LANドライバ名>」がない場合は、「追加」をクリックしてください。「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」は「TCP/IP」を選択して「OK」をクリックします。これで「現在のネットワークコンポーネント」一覧にTCP/IPが追加されます。



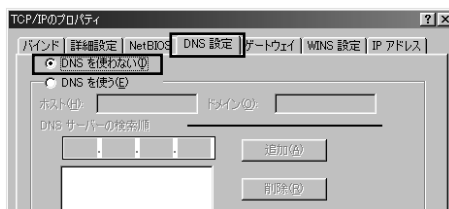
4 IPアドレスを設定する

「TCP/IPのプロパティ」の「IPアドレス」タブをクリックして、「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。



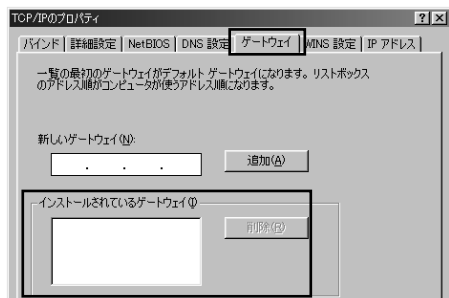
5 DNSを設定する

「DNS設定」タブをクリックして、「DNSを使わない」を選択します。



6 ゲートウェイを設定する

「ゲートウェイ」タブをクリックして、「インストールされているゲートウェイ」になにも設定されていないことを確認します。
この欄に何か設定されている場合は、そのアドレスをクリックして選択してから「削除」をクリックして削除してください。



7 「TCP/IPのプロパティ」を終了する

IPアドレス、DNS設定、ゲートウェイを設定後、確認したら「OK」をクリックします。

8 「ネットワーク」を終了する

「ネットワーク」に戻り、「OK」をクリックします。

9 パソコンを再起動する

最後に「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません。

アドバイス

- ご利用中のパソコンによってはWindows®のCD-ROMをセットするようにメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

Memo



インフラストラクチャ モードで使う

- 1 インフラストラクチャ設定の流れ……52
 - 2 インターネットへの接続例……53
 - 3 無線LANアクセスポイントへの無線接続…54
 - 4 インターネット接続……65

4

インフラストラクチャモードで使う

1 インフラストラクチャ設定の流れ

まずは、本商品とWeb Caster V120と一緒に使って、インターネットに接続してみましょう。

インフラストラクチャモードでインターネットへ接続する場合は、次の手順で行ってください。

インターネットへの接続例 (→P53)



無線ネットワーク名の新規登録

※通常の場合は、こちらになります。

- Windows Vista®の場合 (→P54)
- Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 (→P60)



インターネットへの接続

- Windows Vista®の場合 (→P65)
- Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 (→P68)



本商品から無線LANアクセスポイントを検索して、接続します。

- Windows Vista®の場合 (→P58)
- Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 (→P63)

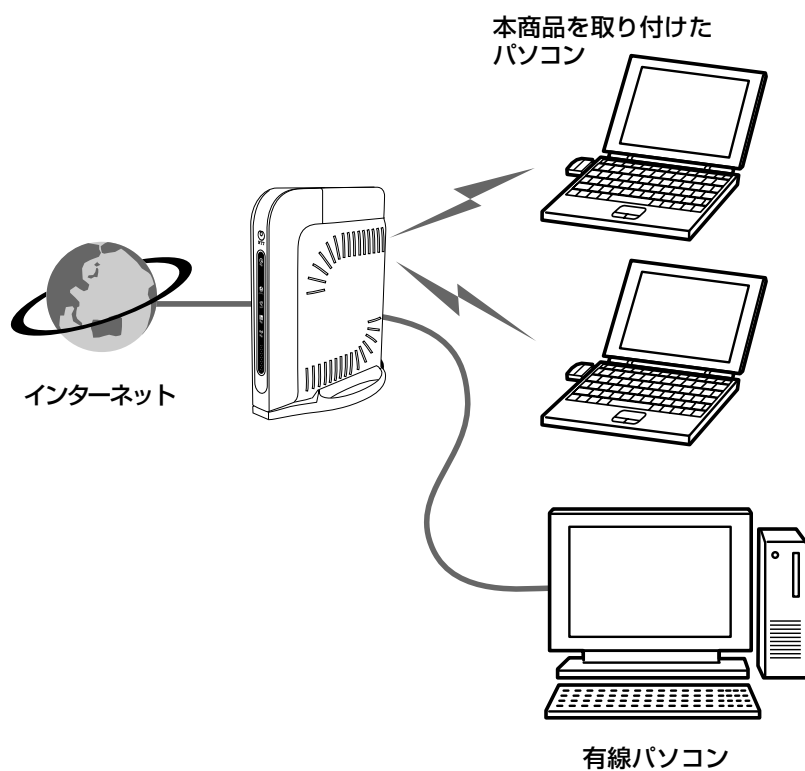


4

インフラストラクチャモードで使う

2 インターネットへの接続例

インターネットへの接続例は、下記ようになります。



4

インフラストラクチャモードで使う

3 無線LANアクセスポイントへの無線接続

Windows Vista®の場合

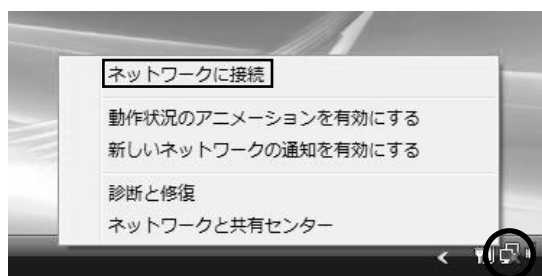
無線ネットワーク名の新規登録

無線LANアクセスポイントと通信を行うときに必要な設定を行います。

ここでは、無線LANアクセスポイントが以下の設定である場合を例にあげ説明していきます。

- ・無線ネットワーク名(SSID)「TESTMODE」
- ・認証方式「WPA-PSK」
- ・暗号化「TKIP」
- ・暗号化キー (PSK)「ENCRYPTION」

1 タスクトレイにある  アイコンを右クリックし、「ネットワークに接続」をクリックする



2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする



3 「ワイヤレスネットワークに手で接続します」を選択し、[次へ]をクリックする



4 ワイヤレスアダプタを選択する

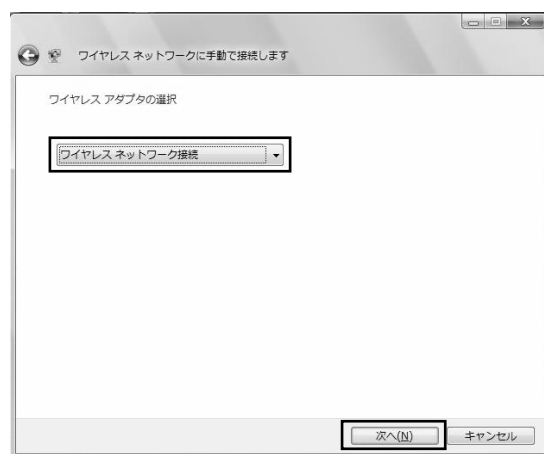
ワイヤレスアダプタの選択画面が表示されます。該当するネットワークを選択し、[次へ]をクリックします。

※本画面は、ワイヤレスアダプタを選択する必要がない場合には表示されません。

表示されない場合は、手順5へ進んでください。

※選択するワイヤレスアダプタが不明の場合は、以下の方法で確認してください。

「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」－「ネットワーク接続の管理」の順にクリックします。「ネットワーク接続」の「LANまたは高速インターネット」の欄に表示されている「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面で「接続の方法」の欄に「Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card」と表示されているワイヤレスネットワーク接続が、選択すべきワイヤレスアダプタになります。



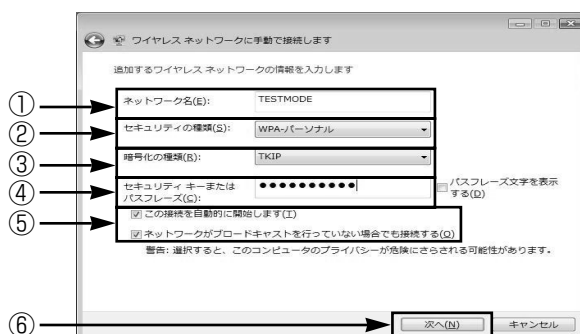
4

インフラストラクチャモードで使う

3 無線LANアクセスポイントへの無線接続

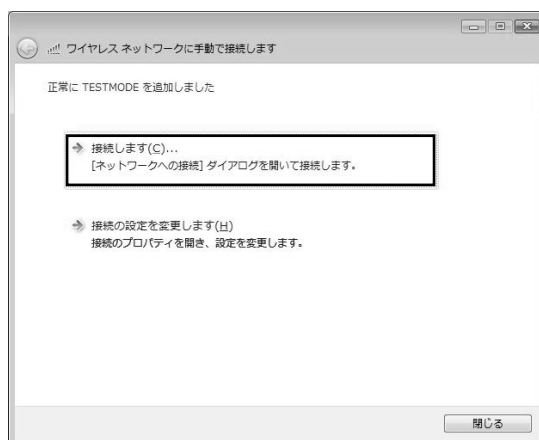
5 ネットワーク名および通信に必要な情報を設定する

- ① ネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID））を入力します。（画面はネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID））を「TESTMODE」に設定した場合の例です。）
- ② セキュリティの種類（認証方式）を選択します。（画面はセキュリティの種類（認証方式）を「WPA-パーソナル」(WPA-PSK)に設定した場合の例です。）
- ③ 暗号化の種類を選択します。（画面は暗号化の種類を「TKIP」に設定した場合の例です。）
- ④ セキュリティキーまたはパスフレーズ（暗号化キー（PSK））を入力します。（例「ENCRYPTION」）
- ⑤ 「この接続を自動的に開始します」および「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを入れます。
- ⑥ [次へ]をクリックします。
セキュリティに関する設定の詳細については、「暗号化設定（Windows Vista®の場合）」（→P87）をご覧ください。



6 「接続します」をクリックする

※ 本画面表示後しばらく経過すると、手順7のネットワークの場所の設定画面が表示される場合があります。



7 ネットワークの場所を設定する

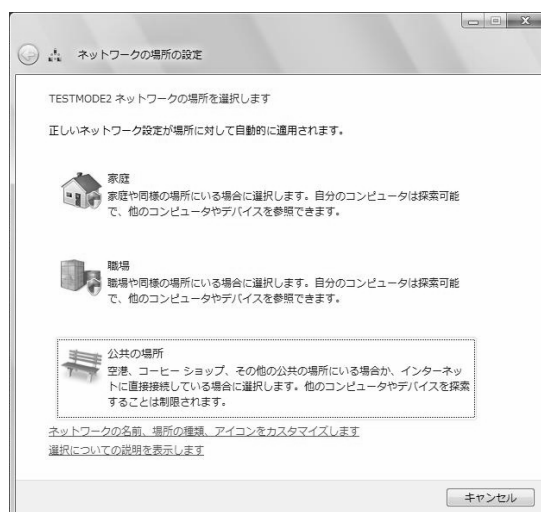
「家庭」、「職場」、「公共の場所」のいずれかを選択します。

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

設定後、確認画面が表示されるので、[閉じる]をクリックします。

※本画面は、OSの設定状態によっては表示されない場合があります。

表示されない場合は、手順8へ進んでください。



8 接続の確認を行う

接続された場合、ネットワーク名（無線ネットワーク名(SSID)）の右側に「接続」と表示されます。

確認後、[キャンセル]をクリックします。



4

インフラストラクチャモードで使う

3 無線LANアクセスポイントへの無線接続

無線LANアクセスポイントを検索して接続

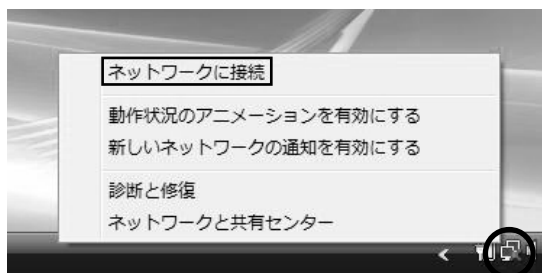
本商品から無線LANアクセスポイントを検索して接続します。

※あらかじめ無線LANアクセスポイントは設定をして、電源が入った（接続可能）状態にしておいてください。

ここでは、無線LANアクセスポイントが以下の設定である場合を例にあげ説明していきます。

- ・無線ネットワーク名(SSID)「TESTMODE」
- ・認証方式「WPA-PSK」
- ・暗号化「TKIP」
- ・暗号化キー（PSK）「ENCRYPTION」

1 タスクトレイにある  アイコンを右クリックし、「ネットワークに接続」をクリックする



2 接続したいネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))をクリックし、[接続]をクリックする

(画面はネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))「TESTMODE」に接続する場合の例です。)



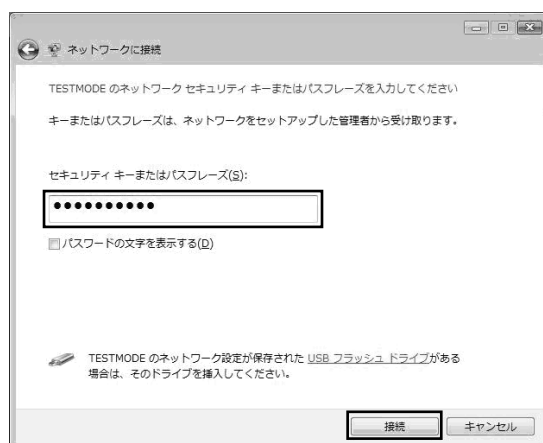
お知らせ

SSIDの公開（ANY接続）が有効で暗号化なしの場合は、この時点で接続完了です。

SSIDの公開（ANY接続）が無効の場合は、「無線ネットワーク名の新規登録」（→P54）の手順で接続してください。

3 セキュリティキーまたはパスフレーズを入力する

セキュリティキーまたはパスフレーズ(暗号化キー (PSK))を入力(例「ENCRYPTION」)し、[接続] をクリックします。
セキュリティに関する設定の詳細については、「暗号化設定 (Windows Vista®の場合)」(→ P87) をご覧ください。



4 [閉じる]をクリックする

接続された場合、「正しく接続しました」が表示されます。
確認後、[閉じる] をクリックします。



5 [続行] をクリックする

「ユーザアカウント制御」の画面が表示されますので、[続行] をクリックします。

6 接続の確認を行う

手順2の画面を表示し、該当するネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))の右側に「接続」と表示されていることを確認します。
確認後、[キャンセル] をクリックします。



4

インフラストラクチャモードで使う

3 無線LANアクセスポイントへの無線接続

Windows®XP/2000/Me/98SEの場合

無線ネットワーク名の新規登録

無線LANアクセスポイントと通信を行うときに必要な設定を行います。

ここでは、無線LANアクセスポイントが以下の設定である場合を例にあげ説明していきます。

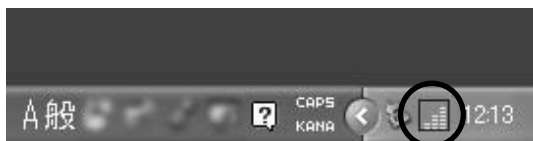
- ・無線ネットワーク名(SSID)「TESTMODE」
- ・認証方式「WPA-PSK」
- ・暗号化「TKIP」
- ・暗号化キー (PSK)「ENCRYPTION」

1 タスクトレイにある をダブルクリックする

お知らせ

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] (Windows®2000/Me/98SEでは [プログラム]) - [Web Caster FT-STC-Kag] - [Web Caster FT-STC-Kag Utility] の順にクリックしてください。

Windows® XP/2000で Web Caster FT-STC-Kagユーティリティの機能を使用して無線LANの設定、状態表示を行う場合、「管理者」か「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンした場合、無線の通信は可能ですが、設定、状態表示を行うことはできません。

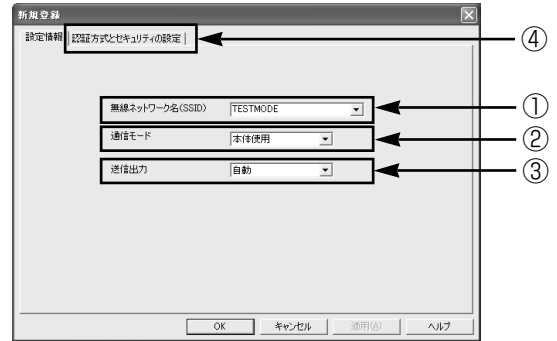


2 [登録一覧] タブをクリックし、[追加] をクリックする



3 無線ネットワーク名 (SSID) および通信の設定を行う

- ① 無線ネットワーク名 (SSID) を入力します。
(画面は無線ネットワーク名 (SSID) を「TESTMODE」に設定した場合の例です。)
- ② 通信モード「本体使用」を選択します。
- ③ 送信出力 (自動/100%/75%/50%/25%/10%/最低値) を選択します。
(画面は送信出力を「自動」に設定した場合の例です。)
- ④ 「認証方式とセキュリティの設定」タブをクリックします。



4 暗号化の設定を行う

- ① 認証方式を選択します。
(画面は認証方式を「WPA-PSK」に設定した場合の例です。)
- ② 暗号化を選択します。
(画面は暗号化を「TKIP」に設定した場合の例です。)
- ③ 暗号化キー (PSK) を入力します。
(例「ENCRYPTION」)

暗号化の詳細については、「暗号化設定 (Windows® XP/2000/Me/98SEの場合)」 (→P89) をご覧ください。



5 【OK】をクリックする

登録一覧の画面に戻ります。



4

インフラストラクチャモードで使う

3 無線LANアクセスポイントへの無線接続

6 [有効にする] をクリックする



7 接続の確認を行う

表示が赤の場合→未接続

表示が緑の場合→接続

また接続の確認は、上記以外に「ネットワーク一覧」タブ、「接続状態」タブでも確認できます。



無線LANアクセスポイントを検索して接続

本商品から無線LANアクセスポイントを検索して接続します。

※ あらかじめ無線LANアクセスポイントは設定をして、電源が入った（接続可能）状態にしておいてください。

ここでは、無線LANアクセスポイントが以下の設定である場合を例にあげ説明していきます。

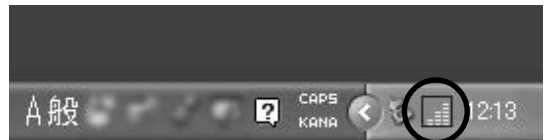
- ・無線ネットワーク名(SSID)「TESTMODE」
- ・認証方式「WPA-PSK」
- ・暗号化「TKIP」
- ・暗号化キー (PSK)「ENCRYPTION」

1 タスクトレイにある をダブルクリックする

お知らせ

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム]（Windows®2000/Me/98SEでは[プログラム]） - [Web Caster FT-STC-Kag] - [Web Caster FT-STC-Kag Utility] の順にクリックしてください。

Windows® XP/2000でWeb Caster FT-STC-Kagユーティリティの機能を使用して無線LANの設定、状態表示を行う場合、「管理者」か「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンした場合、無線の通信は可能ですが、設定、状態表示を行うことはできません。



2 [ネットワーク一覧] タブをクリックする



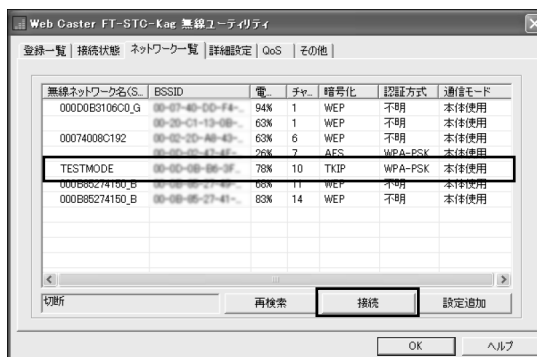
4

インフラストラクチャモードで使う

3 無線LANアクセスポイントへの無線接続

3 接続したい無線ネットワーク名 (SSID) をクリックし [接続] をクリックする

(画面は無線ネットワーク名 (SSID) 「TESTMODE」 に接続する場合の例です。)



お知らせ

SSIDの公開 (ANY接続) が有効で暗号化なしの場合は、この時点で接続完了です。リストが表示されない場合は、[再検索] ボタンをクリックします。
SSIDの公開 (ANY接続) が無効の場合は、「無線ネットワーク名の新規登録」 (→P60) の手順で接続してください。

4 暗号化の設定を入力し、[OK] をクリックする

WEP、WPA-PSK (TKIP) の場合、認証方式とセキュリティの設定画面に移行します。詳しくは、「暗号化設定 (Windows®XP/2000/Me/98SE の場合)」 (→P89) をご覧ください。暗号化が設定されていない場合、完了です。接続された場合、 が表示されます。



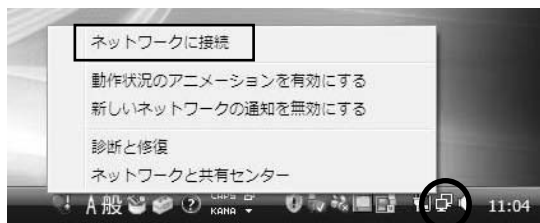
4 インフラストラクチャモードで使う

4 インターネット接続

インターネットへ接続するには、下記の方法があります。

Windows Vista®の場合

1 タスクトレイの アイコンを 右クリックし、「ネットワーク に接続」をクリックする



お知らせ

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークへの接続] の順にクリックしてください。

2 接続状態を確認する

該当するネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID））の右側に「接続」と表示されていることを確認します。

確認後、[キャンセル] をクリックします。



3 コマンドプロンプト画面を表示する

[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] の順にクリックします。

4

インフラストラクチャモードで使う

4 インターネット接続

4 IPアドレスを確認する

- ① ipconfig /allと入力して、[Enter] キーを押します。
- ② TCP/IPの内容が「IPv4 アドレス」欄に表示されます。このとき「192.168.xxx.xxx (優先)」など (例として「192.168.1.1 (優先)」) のIPアドレスが表示されていれば、正常にIPアドレスが割り当てられています。

ここでパソコンに適切なIPアドレスが割り当てられていないと、インターネットへ接続できません。割り当てられていない場合は、次の点を確認してください。

Web Caster V120のDHCPサーバ機能を使用する設定になっていますか。

Web Caster V120の設定については、Web Caster V120の詳細設定ガイドをご確認ください。

```
コマンド プロンプト
C:\Users\Administrator>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . . : IMAI
プライマリ DNS サフィックス . . . . . : 
ブロード タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . : fletsphone

Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続 2:

接続固有の DNS サフィックス . . . : fletsphone
説明 . . . . . : Ralink RT61 Turbo Wireless LAN Card
物理アドレス . . . . . : 00-10-60-87-07-9E
DHCP 有効 . . . . . : はい
自動構成有効 . . . . . : はい
リンクローカル IPv6 アドレス . . . : fe80::ceec35b28ac:b252%11(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.1.11(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
リース取得 . . . . . : 2007年4月24日 23:50:14
リースの有効期限 . . . . . : 2007年4月25日 0:50:13
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.1.1
DHCP サーバー . . . . . : 192.168.1.1
DHCPv6 IAID . . . . . : 301934080
DNS サーバー . . . . . : 192.168.1.1
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効
```

お知らせ

パソコンの設定については、「3. パソコンの設定」(→P34) を参照してください。

5 接続を確認する

- ① 例えば、ping 192.168.1.1 (デフォルト GWのアドレス) と入力して、[Enter] キーを押します。
- ② 「192.168.1.1 からの応答: バイト数 =32…」などのメッセージが表示されます。

ここで「要求がタイムアウトしました。」または「192.168.xxx.xxx からの応答: 宛先ネットワークに到達できません。」などのメッセージが表示される場合は、次の点を確認してください。

機器の状態は正常ですか。

Web Caster V120の電源が正しく投入されていることを確認してください。

Web Caster V120のIPアドレスは正しく設定されていますか。

Web Caster V120の設定については、Web Caster V120の詳細設定ガイドをご確認ください。

```
コマンド プロンプト
C:\Users\Administrator>ping 192.168.1.1

192.168.1.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:

192.168.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64

192.168.1.1 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4, 受信 = 4, 損失 = 0 (0% の損失),
ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 0ms, 最大 = 0ms, 平均 = 0ms

C:\Users\Administrator>
```

- ③ [コマンドプロンプト] を終了します。

6 Internet Explorerを起動する

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Internet Explorer] の順にクリックします。

7 インターネットのサイトを表示する

「アドレス」欄に<http://www.ntt.co.jp/>と入力して、[Enter] キーを押します。

当社ホームページが正しく表示されることを確認してください。正しく表示されたら、インターネットへ接続するための設定は完了です。



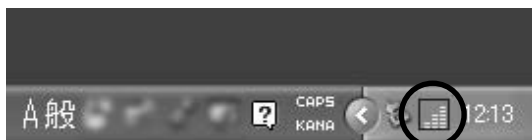
4

インフラストラクチャモードで使う

4 インターネット接続

Windows®XP/2000/Me/98SEの場合

1 タスクトレイにある をダブルクリックする

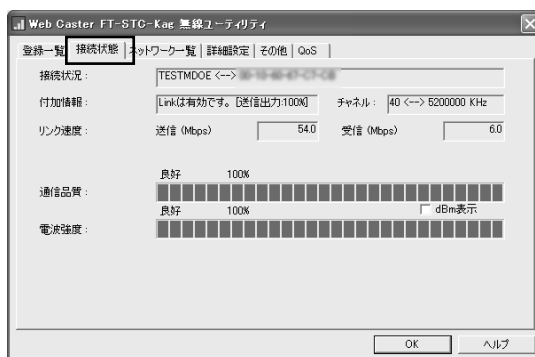


お知らせ

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] (Windows® 2000/Me/98SEでは [プログラム]) - [Web Caster FT-STC-Kag] - [Web Caster FT-STC-Kag Utility] の順にクリックしてください。
ユーティリティ画面が表示されます。

2 [接続状態] タブをクリックし 接続状態を確認する

接続状況が切断になっていないことを確認します。各種項目については付録の「「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の使いかた」(→P116)をご覧ください。



3 コマンドプロンプト画面を表示する

[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] の順にクリックします。

Windows® 2000の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] の順にクリックします。
⇒【コマンドプロンプト】画面が表示されます。

Windows® Me/98SEの場合

手順4のWindows® Me/98SEの場合に進んでください。

4 IPアドレスを確認する

- ① ipconfig /allと入力して、[Enter] キーを押します。
- ② TCP/IPの内容が「IP Address」欄に表示されます。このとき、「192.168.xxx.xxx」など（例として、192.168.1.11）のIPアドレスが表示されていれば、正常にIPアドレスが割り当てられています。

ここでパソコンに適切なIPアドレスが割り当てられていないと、インターネットへ接続できません。割り当てられていない場合は、次の点を確認してください。

```

コマンド プロンプト
C:\Documents and Settings\Administrator>ipconfig /all

Windows IP Configuration

Host Name . . . . . : 2M
Primary Dns Suffix . . . . . :
Node Type . . . . . : Hybrid
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No
DNS Suffix Search List. . . . . : fletsphone

Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続 2:

Connection-specific DNS Suffix . : fletsphone
Description . . . . . : Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card
Physical Address. . . . . : 00-10-60-67-C7-06
Dhcp Enabled. . . . . : Yes
Autoconfiguration Enabled . . . . : Yes
IP Address. . . . . : 192.168.1.11
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
DHCP Server . . . . . : 192.168.1.1
DNS Servers . . . . . : 192.168.1.1
Lease Obtained. . . . . : 2007年5月1日 16:18:04
Lease Expires . . . . . : 2007年5月1日 17:18:04

C:\Documents and Settings\Administrator>

```

Web Caster V120のDHCPサーバ機能を使用する設定になっていますか。

Web Caster V120の設定については、Web Caster V120の詳細設定ガイドをご確認ください。

お知らせ

パソコンの設定については、「3. パソコンの設定」(→P34) を参照してください。

Windows® Me/98SEの場合

- ① 「スタート」－「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし「名前」の入力欄に「winipcfg」と入力し、「OK」をクリックします。
- ② winipcfgが起動したら、「Ethernet アダプタ情報」が表示されます。
アダプタ名が「PPP Adapter.」などと表示されている場合は、プルダウンメニューで「IEEE 802.11g Wireless Card.」を選択します。
確認する箇所は以下のとおりです。
 - ・ IPアドレス
 - ・ サブネットマスク
 - ・ デフォルトゲートウェイ
 これらの情報はすべて自動で設定されます。
例として、192.168.1.11のIPアドレスが表示されていれば、正常にIPアドレスが割り当てられています。
- ③ 「スタート」－「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
⇒ 【コマンドプロンプト】画面が表示されます。

4

インフラストラクチャモードで使う

4 インターネット接続

5 接続を確認する

- ① 例えば、ping 192.168.1.1（デフォルト GWのアドレス）と入力して、[Enter] キーを押します。
- ② 「Reply from 192.168.1.1・・・」などのメッセージが表示されます。

ここで「Request timed out」または「Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、次の点を確認してください。

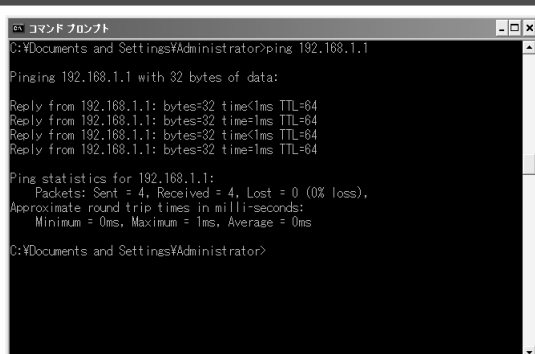
機器の状態は正常ですか。

Web Caster V120の電源が正しく投入されていることを確認してください。

Web Caster V120のIPアドレスは正しく設定されていますか。

Web Caster V120の設定については、Web Caster V120の詳細設定ガイドをご確認ください。

- ③ [コマンドプロンプト] を終了します。



```
C:\Documents and Settings\Administrator>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=64

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milliseconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 1ms, Average = 0ms

C:\Documents and Settings\Administrator>
```

6 Internet Explorerを起動する

[スタート] - [すべてのプログラム] (Windows®2000/Me/98SEでは [プログラム]) - [Internet Explorer] の順にクリックします。

7 インターネットのサイトを表示する

「アドレス」欄にhttp://www.ntt.co.jp/と入力して、[Enter] キーを押します。

当社ホームページが正しく表示されることを確認してください。正しく表示されたら、インターネットへ接続するための設定は完了です。





アドホックモード で使う

1 アドホック設定の流れ……72

2 アドホックネットワークの接続例……73

3 アドホックネットワークへの無線接続……74

1 アドホック設定の流れ

本商品をアドホックネットワークへ接続する方法を説明します。
アドホックネットワークは、無線LANアクセスポイントがなくても、無線LANカードを使って無線LANを構築できます。

アドホックモードでアドホックネットワークへ接続する場合は、次の手順で行ってください。

アドホックネットワークの接続例（→P73）



アドホックネットワークの無線ネットワーク名（SSID）を新規に登録してアドホックネットワークを構築する

●アドホックネットワークへの無線接続「アドホックネットワークを構築する（1台目）」

Windows Vista®の場合（→P74）

Windows®XP/2000/Me/98SEの場合（→P80）



アドホックネットワークへ接続する（2台目以降の設定方法）

●アドホックネットワークへの無線接続「アドホックネットワークを構築する（2台目以降）」

Windows Vista®の場合（→P78）

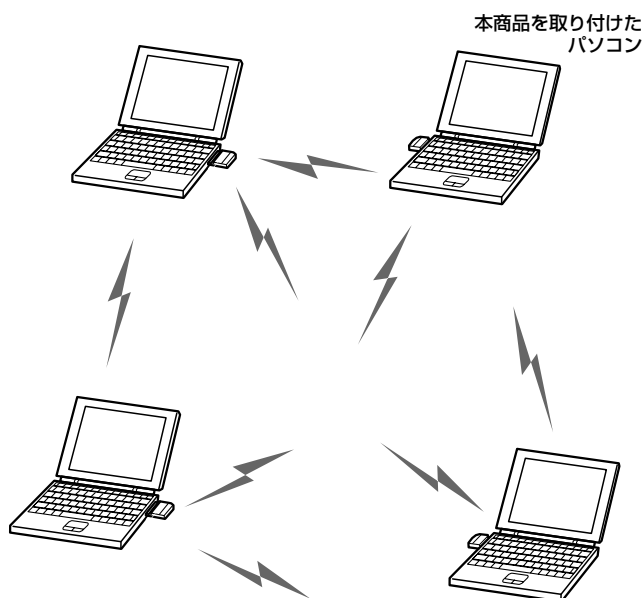
Windows®XP/2000/Me/98SEの場合（→P83）

5

アドホックモードで使う

2 アドホックネットワークの接続例

ここでは、アドホックネットワークで使用する場合を例として説明します。



お知らせ

- アドホックネットワークの無線LANは、本商品をPCカードスロットに挿入した複数のパソコンで構築します。
- 無線LANアクセスポイントを使って無線LANを構築する場合は、アドホックモードではなく、インフラストラクチャモードを使用してください。
- アドホックネットワーク内のすべての無線LANカードのSSIDおよび使用チャネルの設定は統一してください。

3 アドホックネットワークへの無線接続

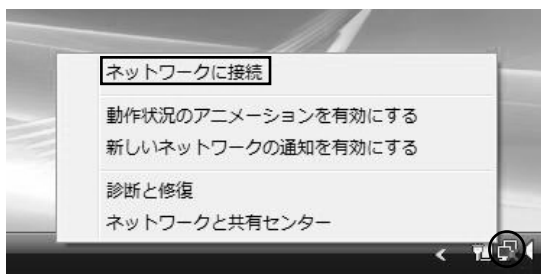
Windows Vista®の場合

アドホックネットワークを構築する（1台目）

無線ネットワーク名（SSID）を新規に登録してアドホックネットワークを構築します。
ここでは、構築するアドホックネットワークが以下の設定である場合を例にあげ説明していきます。

- 無線ネットワーク名(SSID)「TESTMODE」
- 暗号化「WEP」
- WEP鍵「1234567890123」

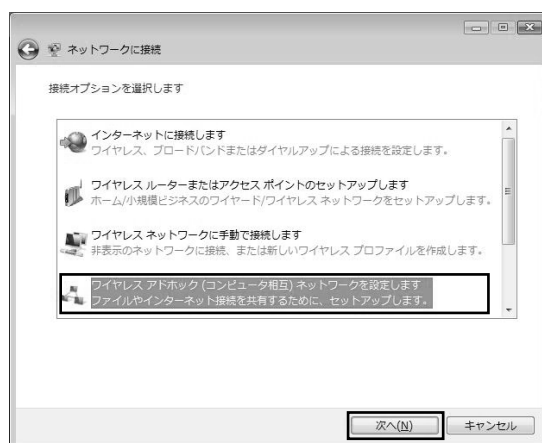
1 タスクトレイにある  アイコンを右クリックし、「ネットワークに接続」をクリックする



2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする



3 「ワイヤレスアドホック（コンピュータ相互）ネットワークを設定します」を選択し、[次へ]をクリックする



4 ワイヤレスネットワークを選択する

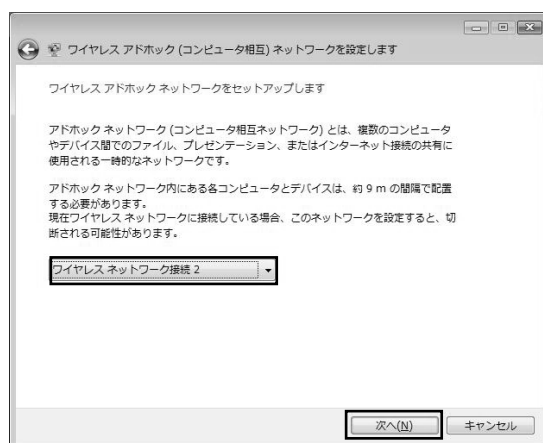
ワイヤレスアダプタの選択画面が表示されます。

該当するネットワークを選択し、[次へ]をクリックします。

※本画面は、ワイヤレスアダプタを選択する必要がない場合には表示されません。
表示されない場合は、手順5へ進んでください。

※選択するワイヤレスアダプタが不明の場合は、以下の方法で確認してください。

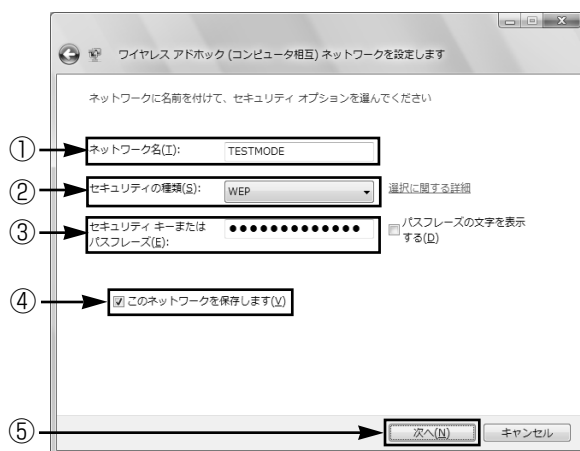
「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」－「ネットワーク接続の管理」の順にクリックします。「ネットワーク接続」の「LANまたは高速インターネット」の欄に表示されている「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面で「接続の方法」の欄に「Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card」と表示されているワイヤレスネットワーク接続が、選択すべきワイヤレスアダプタになります。



3 アドホックネットワークへの無線接続

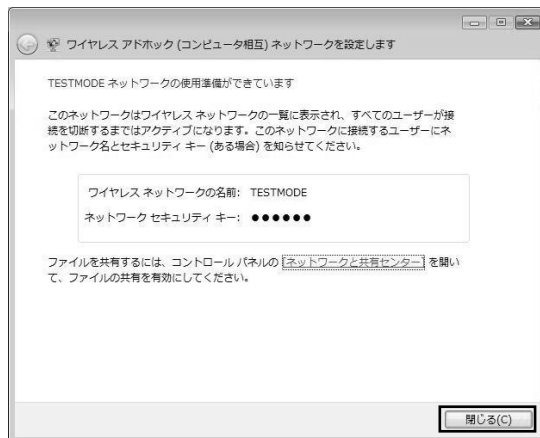
5 ネットワーク名および通信に必要な情報を設定する

- ① ネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID））を入力します。
（画面はネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID））を「TESTMODE」に設定した場合の例です。）
- ② セキュリティの種類を選択します。
（アドホックネットワークの場合、セキュリティの種類は「WEP」を選択してください。）
- ③ セキュリティキーまたはパスフレーズ（WEP鍵）を入力（例「1234567890123」）します。
- ④ 「このネットワークを保存します」にチェックをいれます。
- ⑤ 「次へ」をクリックします。
セキュリティに関する設定の詳細については、「暗号化設定（Windows Vista®の場合）」（→P87）をご覧ください。



6 「閉じる」をクリックする

設定が完了し、「ネットワークの使用準備ができています」が表示されます。
確認後、「閉じる」をクリックします。



7 接続の確認を行う

手順2の画面を表示し、該当するネットワーク名（無線ネットワーク名(SSID)）の右側に「ユーザーの接続を待っています」と表示されていることを確認します。確認後、[キャンセル] をクリックします。



お知らせ

TCP/IPプロトコルを使用して通信する場合は、この後ローカルIPアドレスの設定が必要です。

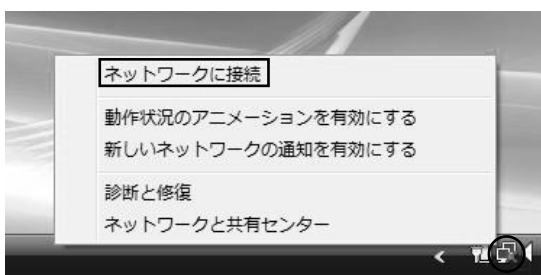
3 アドホックネットワークへの無線接続

アドホックネットワークを構築する（2台目以降）

2台目以降は、先に登録したアドホックネットワークを選択して登録します。
ここでは、先に登録したアドホックネットワークが以下の設定である場合を例にあげ説明していきます。

- ・無線ネットワーク名(SSID)「TESTMODE」
- ・暗号化「WEP」
- ・WEP鍵「1234567890123」

1 タスクトレイにある アイコンを右クリックし、「ネットワークに接続」をクリックする



2 接続したいネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))をクリックし、[接続]をクリックする

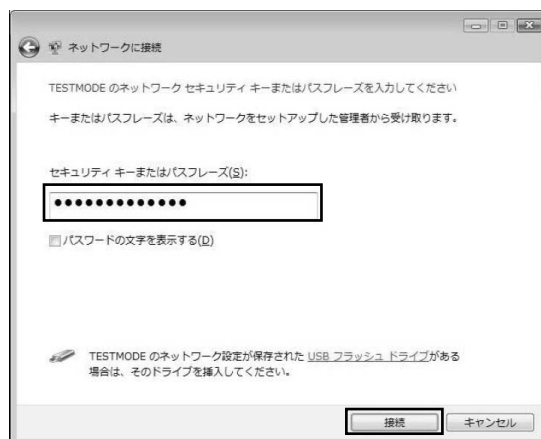
(画面はネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))「TESTMODE」に接続する場合の例です。)

アドホックネットワークを構成する無線LAN端末の中で、1台目を設定する場合、ネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))が表示されません。その場合は、「アドホックネットワークを構築する(1台目)」(→P74)を行ってください。



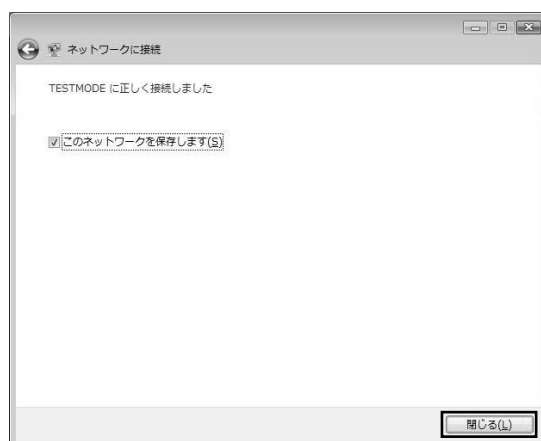
3 セキュリティキーまたはパスフレーズを入力する

セキュリティキーまたはパスフレーズ(WEP 鍵)を入力(例「1234567890123」)し、[接続] をクリックします。
セキュリティに関する設定の詳細については、「暗号化設定 (Windows Vista®の場合)」(→ P87) をご覧ください。



4 [閉じる] をクリックする

正しく接続された場合、「正しく接続しました」が表示されます。
「このネットワークを保存します」にチェックを入れ、[閉じる] をクリックします。



5 接続の確認を行う

手順2の画面を表示し、該当するネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))の右側に「接続」と表示されていることを確認します。確認後、[キャンセル] をクリックします。



お知らせ

TCP/IPプロトコルを使用して通信する場合は、この後ローカルIPアドレスの設定が必要です。

3 アドホックネットワークへの無線接続

Windows®XP/2000/Me/98SEの場合

アドホックネットワークを構築する（1台目）

無線ネットワーク名（SSID）を新規に登録してアドホックネットワークを構築します。
ここでは、構築するアドホックネットワークが以下の設定である場合を例にあげ説明していきます。

- ・無線ネットワーク名(SSID)「TESTMODE」
- ・PC間直接通信モード「802.11 bのみ」
- ・チャンネル「10」
- ・暗号化「WEP」
- ・WEP鍵「1234567890123」

1 タスクトレイにある をダブルクリックする

お知らせ

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム]（Windows® 2000/Me/98SEでは [プログラム]） - [Web Caster FT-STC-Kag] - [Web Caster FT-STC-Kag Utility] の順にクリックしてください。

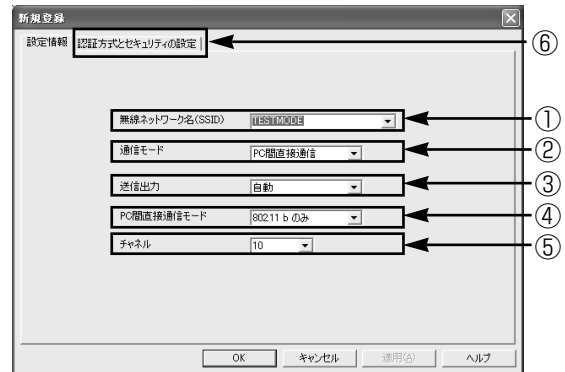
Windows® XP/2000でWeb Caster FT-STC-Kagユーティリティの機能を使用して無線LANの設定、状態表示を行う場合、「管理者」か「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンした場合、無線の通信は可能ですが、設定、状態表示を行うことはできません。

2 [登録一覧] タブをクリックし、[追加] をクリックする



3 無線ネットワーク名 (SSID) および通信の設定を行う

- ① 無線ネットワーク名 (SSID) を入力します。
(画面は無線ネットワーク名 (SSID) を「TESTMODE」に設定した場合の例です。)
- ② 通信モード「PC間直接通信」を選択します。
- ③ 送信出力 (自動／100％／75％／50％／25％／10％／最低値) を選択します。
(画面は送信出力を「自動」に設定した場合の例です。)
- ④ PC間直接通信モードを選択します。
(画面はPC間直接通信モードを「802.11 bのみ」に設定した場合の例です。)
- ⑤ チャンネルを選択します。
(画面はチャンネルを「10」に設定した場合の例です。)
- ⑥ [認証方式とセキュリティの設定] タブをクリックします。



4 暗号化の設定を行う

- ① 認証方式を選択します。
(アドホックネットワークの場合、認証方式は「無指定」を選択してください。)
- ② 暗号化を選択します。
(アドホックネットワークの場合、暗号化は「WEP」を選択してください。)
- ③ WEP鍵を設定します。
鍵番号を選択し、WEP鍵を入力します。
(画面は「鍵1」で「文字入力」を選択し、WEP鍵を「1234567890123」に設定した場合の例です。)



暗号化の詳細については、「暗号化設定 (Windows®XP/2000/Me/98SEの場合)」(→P89) をご覧ください。

5 [OK] をクリックする

登録一覧の画面に戻ります。



5

アドホックモードで使う

3 アドホックネットワークへの無線接続

6 「有効にする」をクリックする



7 接続の確認を行う

表示が赤の場合→未接続

表示が緑の場合→接続

また接続の確認は、上記以外に「ネットワーク一覧」タブ、「接続状態」タブでも確認できます。



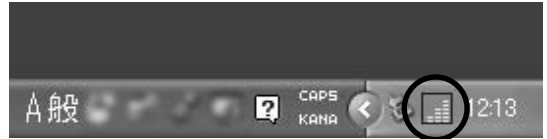
お知らせ

TCP/IPプロトコルを使用して通信する場合は、この後ローカルIPアドレスの設定が必要です。

アドホックネットワークを構築する（2台目以降）

本商品からアドホックネットワークのパソコンを検索して接続します。

1 タスクトレイにある をダブルクリックする

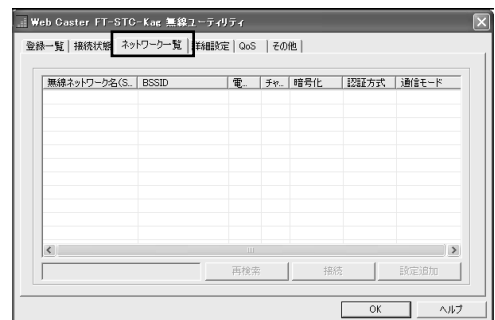


お知らせ

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム]（Windows® 2000/Me/98SEでは[プログラム]） - [Web Caster FT-STC-Kag] - [Web Caster FT-STC-Kag Utility] の順にクリックしてください。

Windows® XP/2000でWeb Caster FT-STC-Kagユーティリティの機能を使用して無線LANの設定、状態表示を行う場合、「管理者」か「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンしてください。

2 [ネットワーク一覧] タブをクリックする



3 接続したい無線ネットワーク名（SSID）をクリックし、[接続]をクリックする

（画面は無線ネットワーク名（SSID）「TESTMODE」に接続する場合の例です。）



お知らせ

暗号化なしの場合は、この時点で接続完了です。リストが表示されない場合は、[再検索]をクリックしてください。

3 アドホックネットワークへの無線接続

4 暗号化の設定を入力し、[OK]をクリックする

WEPの場合、セキュリティの画面に移行します。詳しくは、「暗号化設定（Windows® XP/2000/Me/98SEの場合）」（→P89）をご覧ください。暗号化が設定されていない場合、完了です。

接続された場合、ネットワーク一覧画面に、が表示されます。

以上でアドホックネットワークへの接続は完了です。



お知らせ

TCP/IPプロトコルを使用して通信する場合は、この後ローカルIPアドレスの設定が必要です。

6

セキュリティの 設定について

- 1 セキュリティ設定の流れ……86
- 2 セキュリティの設定……87

1 セキュリティ設定の流れ

本商品のセキュリティ設定は、下記の3項目を同一ネットワーク内で同様にする必要があります。

- ・無線ネットワーク名（SSID）
- ・無線の暗号化
- ・暗号化キー（PSK）・WEP鍵

ネットワークのセキュリティ保護のためにもセキュリティの設定を行うことを強くお勧めします。

本商品を無線ネットワークへ接続するための設定

- 「4.インフラストラクチャモードで使う」（→P52）
- 「5.アドホックモードで使う」（→P72）



セキュリティの設定

- 暗号化設定
 - Windows Vista®の場合（→P87）
 - Windows® XP/2000/Me/98SEの場合（→P89）

6

セキュリティの設定について

2 セキュリティの設定

暗号化設定 (Windows Vista®の場合)

Web Caster V120で利用できる暗号化設定は、[WEP]、[WPA-PSK (TKIP)] の2つです。暗号化の設定は、本商品を無線ネットワークへ接続するための設定の際に行います。本商品を無線ネットワークへ接続するための設定手順については、以下をご覧ください。

- 「4.インフラストラクチャモードで使う」(→P52)
- 「5.アドホックモードで使う」(→P72)

お知らせ

- アドホックモードを使用する場合は、「WPA-PSK」は使用できません。
- WEPとWPA-PSKにはいろいろな形式がありますが、それぞれのセキュリティ強度は強い順に、「WPA-PSK」→「WEP (128bit)」→「WEP (64bit)」となっています。無線LANを構成するすべての無線LANカードに対応している形式の中で、一番セキュリティが強い形式を選択してください。

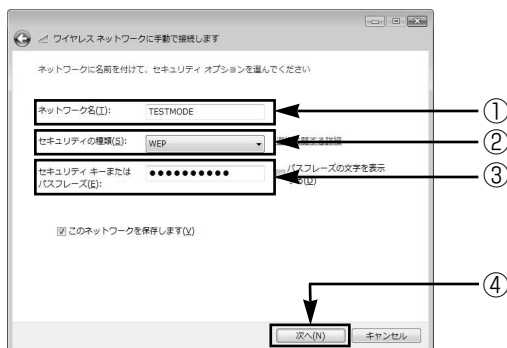
データの漏洩を防ぐために暗号化設定の使用を強く推奨します。

◆WEP

WEPは、無線通信でやり取りするデータを暗号化して、無線通信のセキュリティを高めるための機能です。この機能を使用すると、正しいWEP鍵を知らないユーザが無線通信を盗聴しても、その内容を理解できません。

1 WEPを設定する

- ① ネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))を入力します。
(画面はネットワーク名(無線ネットワーク名(SSID))を「TESTMODE」に設定した場合の例です。)
- ② セキュリティの種類「WEP」を選択します。
- ③ セキュリティキーまたはパスフレーズ(WEP鍵)を入力します。(64、128ビット対応)
- ④ 「次へ」をクリックします。



WEP鍵の必要入力文字数

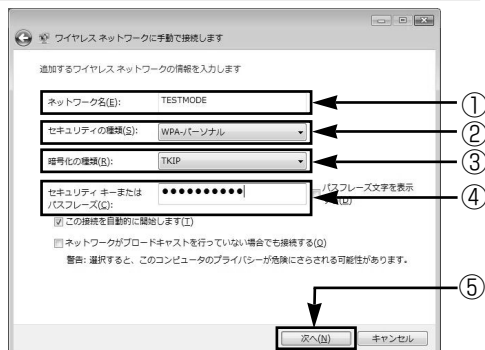
WEP	入力可能文字数	入力可能文字
64ビット文字入力	5文字	0～9、a～z、A～Z
128ビット文字入力	13文字	
64ビット 16進数	10文字	0～9、a～f、A～F
128ビット 16進数	26文字	

2 セキュリティの設定

◆WPA-PSK (TKIP)

1 WPA-PSK (TKIP) を設定する

- ① ネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID））を入力します。
（画面はネットワーク名（無線ネットワーク名（SSID））を「TESTMODE」に設定した場合の例です。）
- ② セキュリティの種類「WPA-パーソナル」(WPA-PSK)を選択します。
- ③ 暗号化の種類「TKIP」を選択します。
- ④ セキュリティキーまたはパスフレーズ(暗号化キー(PSK))を入力します。
- ⑤ [次へ] をクリックします。



暗号化キー (PSK)の必要入力文字数

暗号化キー (PSK)	入力可能文字数	入力可能文字
文字入力	8～63文字	0～9、a～z、A～Z
16進数	64文字	0～9、a～f、A～F

暗号化設定（Windows®XP/2000/Me/98SEの場合）

本商品で利用できる暗号化設定は、[WEP]、[WPA-PSK（TKIP）]の2つです。
暗号化の設定は、本商品を無線ネットワークへ接続するための設定の際に行います。
本商品を無線ネットワークへ接続するための設定手順については、以下をご覧ください。

- 「4.インフラストラクチャモードで使う」（→P52）
- 「5.アドホックモードで使う」（→P72）

お知らせ

- アドホックモードを使用する場合は、「WPA-PSK」は使用できません。
- WEPとWPA-PSKにはいろいろな形式がありますが、それぞれのセキュリティ強度は強い順に、「WPA-PSK」→「WEP（128bit）」→「WEP（64bit）」となっています。無線LANを構成するすべての無線LANカードに対応している形式の中で、一番セキュリティが強い形式を選択してください。

データの漏洩を防ぐために暗号化設定の使用を強く推奨します。

◆WEP

WEPは、無線通信でやり取りするデータを暗号化して、無線通信のセキュリティを高めるための機能です。この機能を使用すると、正しいWEP鍵を知らないユーザが無線通信を盗聴しても、その内容を理解できません。

1 WEPを設定する

- ① 認証方式「無指定」を選択します。
- ② 暗号化「WEP」を選択します。
- ③ 鍵番号を選択し、WEP鍵を入力します。
（64、128ビット対応）
- ④ [OK] をクリックします。



WEP鍵の必要入力文字数

WEP	入力可能文字数	入力可能文字
64ビット文字入力	5文字	0～9、a～z、A～Z
128ビット文字入力	13文字	
64ビット 16進数	10文字	0～9、a～f、A～F
128ビット 16進数	26文字	

2 セキュリティの設定

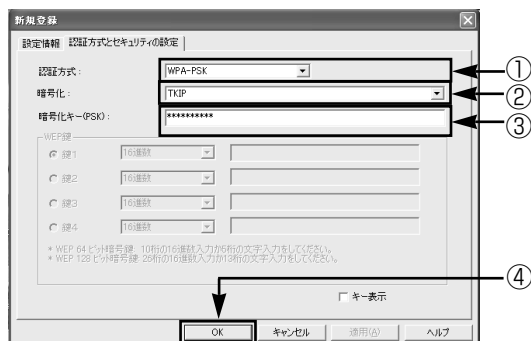
◆WPA-PSK (TKIP)

1 WPA-PSK (TKIP) を設定する

- ① 認証方式「WPA-PSK」を選択します。
- ② 暗号化「TKIP」を選択します。
- ③ 暗号化キー（PSK）を入力します。
- ④ [OK] をクリックします。

暗号化キー（PSK）の必要入力文字数

暗号化キー（PSK）	入力可能文字数	入力可能文字
文字入力	8～63文字	0～9、a～z、A～Z
16進数	64文字	0～9、a～f、A～F





本商品の取り外し

- 1 本商品取り外しの流れ……92
- 2 本商品の取り外し……93

7

本商品の取り外し

1 本商品取り外しの流れ

本商品の取り外しは、次の手順で行ってください。

取り外し方法を選んでください



パソコンの電源を切断して取り外す

- 電源を切断して取り外す (→P93)



パソコンの電源を入れたまま取り外す

- 電源を入れたまま取り外す
Windows Vista®の場合 (→P94)
Windows® XP/2000/Me/98SEの場合 (→P95)

STOP

お願い

- 手順を無視して本商品をパソコンから取り外さないでください。本商品が故障する恐れがあります。
- データ転送中に本商品を取り外すと、データを損失する恐れがありますので行わないでください。

7

本商品の取り外し

2 本商品の取り外し

電源を切断して取り外す

1 パソコンの電源をオフにする

STOP お願い

パソコンの電源をオフにする方法は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 本商品をパソコンから取り外す

7

本商品の取り外し

2 本商品の取り外し

電源を入れたまま取り外す

Windows Vista®の場合

パソコンの電源を入れたまま、本商品をパソコンから取り外すときは、必ず次の手順に従って取り外してください。

STOP お願い

- 手順を無視して本商品をパソコンから取り外さないでください。本商品が故障する恐れがあります。
- データ転送中に本商品を取り外すと、データを損失する恐れがありますので行わないでください。

1 タスクトレイにあるをクリックする

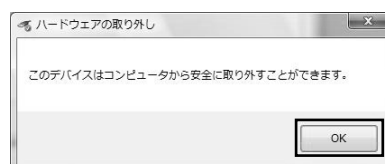
2 「Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card を安全に取り外します」をクリックする

【ハードウェアの取り外し】バブルンが表示されます。

※ 本商品は、Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Cardと表示されます。



3 右記の画面が表示されたら、[OK] をクリックして、本商品をパソコンから取り外す



Windows® XP/2000/Me/98SEの場合

パソコンの電源を入れたまま、本商品をパソコンから取り外すときは、必ず次の手順に従って取り外してください。

STOP お願い

- 手順を無視して本商品をパソコンから取り外さないでください。本商品が故障する恐れがあります。
- データ転送中に本商品を取り外すと、データを損失する恐れがありますので行わないでください。

ここでは、パソコンのOSがWindows® XPである場合について説明します。
Windows® 2000/Me/98SEでは表示される内容が若干異なりますが、基本的な手順は同じです。

1 タスクトレイにある をクリックする

2 [Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card を安全に取り外します] をクリックする

【ハードウェアの取り外し】バルーンが表示されます。

※ 本商品は、Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Cardと表示されます。



Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card を安全に取り外します

3 右記のメッセージが表示されたら、本商品をパソコンから取り外す



ハードウェアの取り外し
"Web Caster FT-STC-Kag Wireless LAN Card" は安全に取り外すことができます。

Memo



アンインストール

- 1 アンインストールの流れ……98
- 2 アンインストール……99

8

アンインストール

1 アンインストールの流れ

パソコンにインストールしたドライバとユーティリティを削除することを、「アンインストール」と呼びます。アンインストールを行う手順は次のとおりです。

アンインストールは、次の手順で行ってください。

無線カードの取り外し

- 「7. 本商品の取り外し」(→P92)



アンインストール

Windows Vista®の場合 (→P99)

Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 (→P100)



コンピュータの再起動

※Windows Vista®の場合、再起動の必要はありません。

STOP お願い

- Windows Vista® およびWindows®XP/2000の場合は、「管理者」か「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンしてください。それ以外のユーザー名でログオンすると、正常にアンインストールできません。

ドライバのアンインストール (Windows Vista®の場合)

ドライバのアンインストールは、無線LANカードを取り外した状態で行ってください。
無線LANカードの取り外し方法については、「7. 本商品の取り外し」(→P92)を参照してください。

※Windows Vista® (64ビット版) の場合は、無線LANカードを取り付けた状態でアンインストールを行ってください。

次の手順に従って、Web Caster FT-STC-Kagのドライバをアンインストールします。

1 ドライバをアンインストールする

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Web Caster FT-STC-Kag] - [Uninstall-Web Caster FT-STC-Kag] の順にクリックします。

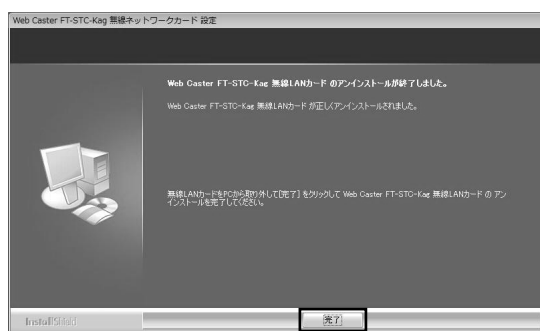
※ユーザー アカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

2 [完了]をクリックする

アンインストール終了の画面が表示されましたら、[完了]をクリックしてください。

※Windows Vista® (64ビット版) の場合

[完了] をクリック後、「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、無線LANカードを取り外してください。



8

アンインストール

2 アンインストール

ドライバとユーティリティのアンインストール(Windows®XP/2000/Me/98SEの場合)

ドライバとユーティリティのアンインストールは、無線LANカードを取り外した状態で行ってください。無線LANカードの取り外し方法については、「7. 本商品の取り外し」(→P92)を参照してください。

次の手順に従って、Web Caster FT-STC-Kagのドライバとユーティリティをアンインストールします。

ここでは、パソコンのOSがWindows® XPである場合について説明します。Windows® 2000/Me/98SEでは表示される内容が若干異なりますが、基本的な手順は同じです。

1 タスクトレイにある を右クリック後、[終了] をクリックする

2 ドライバとユーティリティをアンインストールする

[スタート] - [すべてのプログラム] (Windows®2000/Me/98SEでは [プログラム]) - [Web Caster FT-STC-Kag] - [Uninstall-Web Caster FT-STC-Kag] の順にクリックします。

3 アンインストール画面が表示される

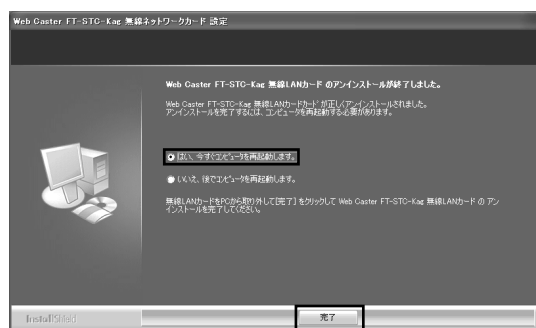
アイコンをクリックします。



4 [完了] をクリックする

アンインストール終了の画面が表示されましたら、[完了] をクリックして再起動を行ってください。

いいえを選択し、[完了] をクリックした場合は手でパソコンの再起動を行ってください。



9

「まるごと設定ツール」 で設定する

- 1 「まるごと設定ツール」で設定する場合の流れ……102
- 2 無線LAN接続の準備……103

9

「まるごと設定ツール」で設定する

1 「まるごと設定ツール」で設定する場合の流れ

本章では無線LAN機能の設定を、「Web Caster V120専用CD-ROM」内の「まるごと設定ツール」を使用して行う方法について説明します。「まるごと設定ツール」の詳細については、Web Caster V120のセットアップガイドを参照してください。

※「まるごと設定ツール」は、Windows Vista® 及びWindows® XP/2000専用です。他のOSをご利用の場合は、「本商品の導入手順」(→P9)に従って設定を行ってください。

「まるごと設定ツール」を使用して無線LAN機能を設定する場合は、次の手順で行ってください。

無線LAN接続の準備

Windows Vista®の場合 (→P103)

Windows®XP/2000の場合 (→P105)



無線LANの設定 (→P107)

お知らせ

「まるごと設定ツール」を使用して無線LAN機能の設定を行う場合、Web Caster V120とパソコンに、共通の「無線設定キーワード」が必要です。

Web Caster V120の無線LAN機能を設定した際の「無線設定キーワード」を使用してパソコンの設定を行いますので、Web Caster V120の無線LAN機能をWebブラウザで設定した場合、パソコンの無線LAN機能の設定に「まるごと設定ツール」を使用することは出来ません。その場合は、「本商品の導入手順」(→P9)に従って設定を行ってください。

9

「まるごと設定ツール」で設定する

2 無線LAN接続の準備

Windows Vista®の場合

お知らせ

- 全てのアプリケーションを終了してください。セキュリティ対策ソフト（ファイアウォール、ウイルスチェックプログラム等）をご利用中にインストールを行うと正常終了しない場合があります。
- 他の無線LAN製品のドライバ・ユーティリティがインストールされているときはアンインストールしてください。
- ドライバのインストールが完了するまでは、無線LANカードをPCカードスロットに取り付けしないでください。
- 無線LANカード（Web Caster FT-STC-Kag）は、Windows® 専用です。
- 「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンし、インストールおよび設定を行ってください。

1 インストール画面が表示される

「まるごと設定ツール」の「無線接続の準備を行います。」画面で、[開始] をクリックします。

※「まるごと設定ツール」の「無線接続の準備を行います。」画面を表示させるまでの手順については、Web Caster V120の「セットアップガイド」をご覧ください。



2 インストール中の画面が表示される



3 インストールの完了

[完了] をクリックします。



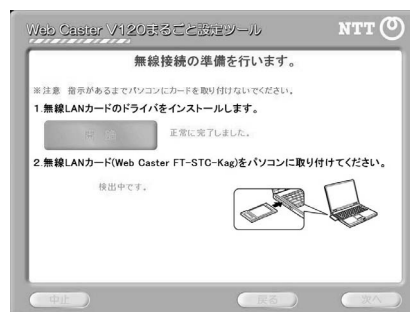
2 無線LAN接続の準備

4 無線LANカードをパソコンに取り付ける

無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやPCカードスロットが破損する可能性があります。装着したら、初期の無線接続が開始します。

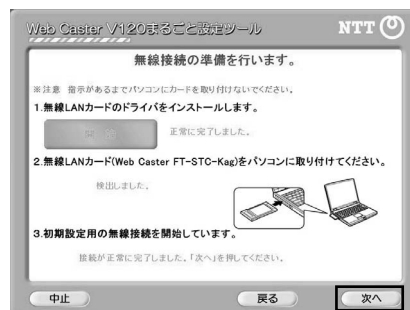
※ 挿入した無線LANカードが正しく認識されない場合や初期接続が失敗した場合は、ドライバをアンインストールする手順となります。アンインストールを行って再度最初から設定してください。

アンインストール後、「新しいハードウェアが見つかりました」と表示された場合は、[キャンセル] をクリックします。



5 「接続が正常に完了しました。」が表示されたら、[次へ]をクリックする

「9.3 無線LANの設定」(→P107)に進んでください。



Windows® XP/2000の場合

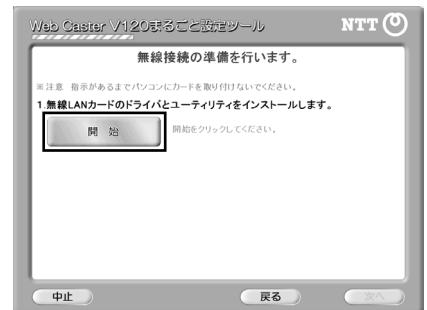
お知らせ

- 全てのアプリケーションを終了してください。セキュリティ対策ソフト（ファイアウォール、ウイルスチェックプログラム等）をご利用中にインストールを行うと正常終了しない場合があります。
- 他の無線LAN製品のドライバ・ユーティリティがインストールされているときはアンインストールしてください。
- ドライバのインストールが完了するまでは、無線LANカードをPCカードスロットに取り付けしないでください。
- 無線LANカード（Web Caster FT-STC-Kag）は、Windows® 専用です。
- 「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンし、インストールおよび設定を行ってください。

1 インストール画面が表示される

「まるごと設定ツール」の「無線接続の準備を行います。」画面で、[開始]をクリックします。

※「まるごと設定ツール」の「無線接続の準備を行います。」画面を表示させるまでの手順については、Web Caster V120の「セットアップガイド」をご覧ください。

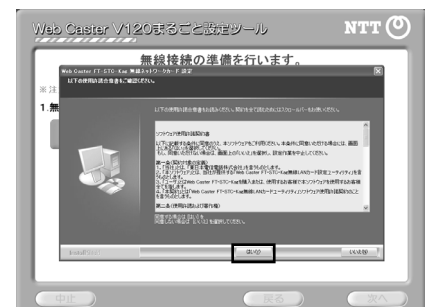


2 セットアップ画面が表示される



3 「ソフトウェア使用許諾契約書」の画面が表示される

内容を確認し、同意される場合は、[はい] を選択するとインストールが開始されます。



9

「まるごと設定ツール」で設定する

2 無線LAN接続の準備

4 インストール中の画面が表示される



5 インストールの完了

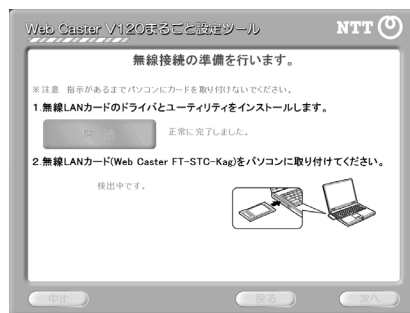
「完了」をクリックします。



6 無線LANカードをパソコンに取り付ける

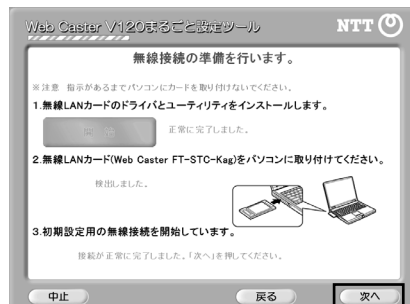
無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやPCカードスロットが破損する可能性があります。装着したら、初期の無線接続が始まります。

※ 挿入した無線LANカードが正しく認識されない場合や初期接続が失敗した場合は、ドライバ・ユーティリティをアンインストールする手順となります。アンインストールを行って再度最初から設定してください。



7 「接続が正常に完了しました。」が表示されたら、「次へ」をクリックする

「9.3 無線LANの設定」(→P107)に進んでください。



9

「まるごと設定ツール」で設定する

3 無線LANの設定

まるごと設定ツールでは、無線設定キーワードを入力することで、無線ネットワーク名（SSID）と暗号鍵を自動的に設定します。

ここでは、無線設定キーワードを「testmode」と入力した場合を例にあげ説明していきます。

1 無線設定のキーワードを入力する

半角英数字で8～64文字のキーワードを入力します。

Web Caster V120まるごと設定ツール NTT

(注意事項) 本設定ツールを使用して、無線の設定をおこなった場合、無線規格は、"802.11b/g"方式で設定されます。

1. 無線設定のキーワードを入力してください。

キーワードから無線ネットワーク名(SSID)と暗号鍵を自動的に生成し反映します。
半角英数字で8桁～64桁までで入力してください。

入力例: manugotosetoi

無線設定キーワード

2. 無線通信の暗号化方式を選択してください。

WPA

WEP

無線設定キーワードの入力および、暗号化方式の選択が完了しましたら、「次へ」を押してください。

中止 戻る 次へ

2 無線通信の暗号化方式を選択する

[WPA] をクリックします（ここでは、暗号化方式に「WPA」を選択します）。
内容を確認し、[次へ] をクリックします。

Web Caster V120まるごと設定ツール NTT

(注意事項) 本設定ツールを使用して、無線の設定をおこなった場合、無線規格は、"802.11b/g"方式で設定されます。

1. 無線設定のキーワードを入力してください。

キーワードから無線ネットワーク名(SSID)と暗号鍵を自動的に生成し反映します。
半角英数字で8桁～64桁までで入力してください。

入力例: manugotosetoi

無線設定キーワード

2. 無線通信の暗号化方式を選択してください。

WPA

WEP

無線設定キーワードの入力および、暗号化方式の選択が完了しましたら、「次へ」を押してください。

中止 戻る 次へ

3 設定内容を確認する

設定した内容が表示されます。
確認したら、[設定] をクリックしてください。
本体へ情報が転送されます。

Web Caster V120まるごと設定ツール NTT

設定内容を確認し、設定ボタンを押してください。

無線規格	802.11b/g
暗号化方式	WPA
無線設定キーワード	testmode

確認する場合は、「戻る」をクリックして入力しなおしてください。
無誤だった内容で間違いのない場合は、「設定」ボタンを押してください。
入力した情報を本体へ設定します。

設定

中止 戻る

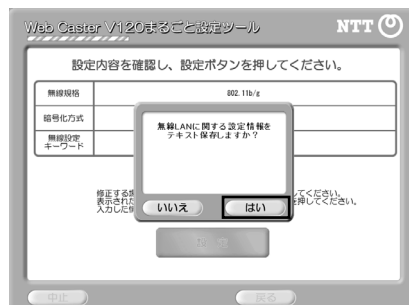
9

「まるごと設定ツール」で設定する

3 無線LANの設定

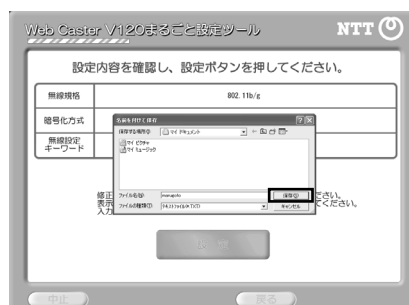
4 無線LANに関する設定情報をパソコンに保存する

無線LANの設定で設定した無線LANに関する情報をパソコンに保存することができます。保存する場合は「はい」、保存しない場合は「いいえ」を選択します。ここでは、「はい」を選択します。



5 保存先を選択する

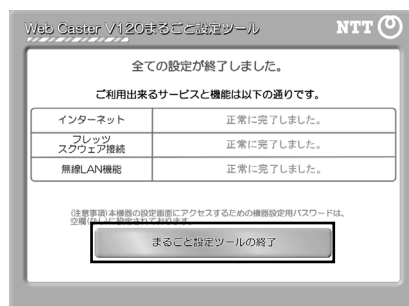
保存先を選択し、「保存」をクリックします。保存が完了したら、本体の初期設定に進みます。



6 設定の完了

「まるごと設定ツールの終了」をクリックします。メニュー画面に戻ります。メニュー画面を終了してCD-ROMを取り出してください。

※ Windows Vista®の場合
メニュー画面終了後、ネットワークの場所の設定画面が表示された場合は、「家庭」、「職場」、「公共の場所」のいずれかを選択します。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。設定後、確認画面が表示されるので、「閉じる」をクリックします。プログラム互換性アシスタント画面が表示された場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックします。



10

トラブルシューティング

- 1 インストールに関するトラブル……110
- 2 ご利用開始後のトラブル……111

10

トラブルシューティング

1 インストールに関するトラブル

症 状	原因と対策
インストールできない	●Windows Vista® およびWindows® XP/2000の場合は、「管理者」または「Administrator」の権限を持つユーザー名でログオンし、インストールを実行してください。
	●ファイアウォールソフト等の、セキュリティ関係のソフトウェアを起動させていると、インストールが正しく実行できません。インストール前にソフトウェアを停止させてください。インストール完了後に元に戻してください。
	●10BASE-T/100BASE-TXインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボードの機能を無効にしないと、本商品のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードおよびLANボードの機能を無効にしてから、設定を行ってください。

10 トラブルシューティング

2 ご利用開始後のトラブル

症 状		原因と対策
本商品が正常に動作しない		●ドライバまたはユーティリティが正しくインストールされていますか。「2.Web Caster FT-STC-Kagドライバ/ユーティリティのインストール」(→P20) をご覧のうえ、ドライバとユーティリティを正しくインストールしてください。 ●ご使用のパソコンに標準で取り付けられている無線LANカードが、動作している可能性があります。デバイスマネージャで、LAN機能の設定を無効にしてください。設定方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。 ●ご使用のパソコンのサスペンド機能が動作している可能性があります。サスペンド機能の設定を無効にしてください。設定方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。 ●本商品がパソコンに正しく認識されていない可能性があります。本商品をパソコンのPCカードスロットからいったん取り外してから、再度挿入してください。 本商品をPCカードスロットから取り外す場合は、「7.本商品の取り外し」(→P92) をご覧ください。
無線LAN アクセスポイントに接続できない	無線ネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった	●無線LANアクセスポイントの無線ネットワーク名 (SSID) を確認してください。確認方法は、Web Caster V120の利用活用ガイド「2.4 無線LANを利用できるようにする」をご覧ください。
	データ保護設定(暗号化)のキーを忘れてしまった	●無線LANアクセスポイントの暗号化キーを確認してください。
	その他	●無線LANカードのドライバが最新でない場合、接続ができない可能性があります。最新のドライバおよびバージョンアップ手順については、弊社のホームページ (http://web116.jp/ced/) を確認してください。 ●無線LANアクセスポイントの電源プラグまたは、電源コードがコンセントに差し込まれているか、確認してください。
		●無線LANアクセスポイントとの距離が離れすぎていないか、確認してください。
本商品が使えない	無線LANアクセスポイントまたは無線LANカードに接続できない	●本商品のランプのつき方を確認してください。本商品のランプのつき方が以下の状態である場合は、本商品が無線LANアクセスポイントを正しく認識していません。無線LANアクセスポイントとの通信の設定をやり直してください。 ・MODEランプ (消灯)、ACTランプ (青点滅) の場合 本商品は、アクセスポイント検索中です。 ※検索の間隔はパソコンやOSによって異なります。 ・MODEランプ (消灯)、ACTランプ (消灯) の場合 本商品に電源が入っていないか、無線接続が確立していない状態 (定期的なアクセスポイント検索の間の待機状態) です。

2 ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
本商品が使えない	無線LANアクセスポイントまたは無線LANカードに接続できない ●無線ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。 ●暗号化を有効にしている場合は、無線LANアクセスポイントと暗号化方式・暗号化キーが一致しているか、確認してください。 ●無線LANアクセスポイントと接続する場合は、「インフラストラクチャモード」で使用します。通信モードがあっているか、確認してください。（「インフラストラクチャモード」で使用する場合の設定内容については、「4.インフラストラクチャモードで使う」（→P52）をご覧ください。） ※Windows Vista®の場合 タスクトレイにあるネットワークアイコンを右クリックし、「ネットワークに接続」をクリックして、該当ネットワーク名に以下のアイコンが表示されていることを確認してください。  ※Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 タスクトレイにあるWeb Caster FT-STC-Kagユーティリティのアイコンをダブルクリックし、[ネットワーク一覧] タブをクリックして、通信モードが「本体使用」となっていることを確認してください。 ●無線LANアクセスポイントを使用せず、無線LANカードどうしを接続する場合は、「アドホックモード」で使用します。通信モードがあっているか、確認してください。（「アドホックモード」で使用する場合の設定内容については、「5.アドホックモードで使う」（→P72）をご覧ください。） ※Windows Vista®の場合 タスクトレイにあるネットワークアイコンを右クリックし、「ネットワークに接続」をクリックして、該当ネットワーク名に以下のアイコンが表示されていることを確認してください。  ※Windows®XP/2000/Me/98SEの場合 タスクトレイにあるWeb Caster FT-STC-Kagユーティリティのアイコンをダブルクリックし、[ネットワーク一覧] タブをクリックして、通信モードが「PC間直接通信」となっていることを確認してください。 また、[接続状態] タブをクリックして使用チャネルが一致していることを確認してください。

症 状	原因と対策
本商品が使えない	接続したい無線LANアクセスポイントまたは無線LANカードがネットワーク一覧に表示されない ●接続したい無線LANアクセスポイントまたは無線LANカードが、設定完了し電源の入った（接続可能）状態であることを確認してください。 ●接続したい無線LANアクセスポイントまたは無線LANカードの無線ネットワーク名(SSID)を設定（入力）して接続してください。 ※無線LANアクセスポイントと接続する場合 設定方法については、「4.インフラストラクチャモードで使う」（→P52）をご覧ください。 ※無線LANカードと接続する場合 設定方法については、「5.アドホックモードで使う」（→P72）をご覧ください。
通信ができない	●無線LANアクセスポイントと無線LANカードの間、または無線LANカードどうしの間に、障害物はありませんか。基本的に電波は壁や天井等も通過するため、金属製以外の障害物があっても各端末間は通信できます。ただし、障害物により電波が遮断されることがあるため、端末間にはなるべく障害物となるものを置かないようにしてください。 ●ネットワークの設定は適切ですか。必要なネットワークコンポーネントがすべてそろっているか、SSIDの設定は正しいか、「IPアドレス」と「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」の各数値が正しいか、ご確認ください。 ●パソコン内蔵のLANポートが、本商品に対して影響を及ぼしている恐れがあります。パソコン内蔵のLANポートの機能を無効にしてください。 ●本商品使用中に、サスペンド等の省電力機能を使用すると、動作が不安定になる恐れがあります。本商品使用時は、省電力機能を使用しないでください。 ●本商品がパソコンに正しく認識されていない可能性があります。本商品をパソコンのPCカードスロットからいったん取り外してから、再度挿入してください。それでも通信が出来ない場合は、ドライバ/ユーティリティのアンインストールを行って再度最初から設定してください。 本商品をPCカードスロットから取り外す場合は、「7. 本商品の取り外し」（→P92）をご覧ください。 本商品のドライバ/ユーティリティをアンインストールする場合は、「8. アンインストール」（→P98）をご覧ください。 ※Windows Vista®（64ビット版）の場合は、無線LANカードを取り付けた状態でアンインストールを行ってください。

Memo



付 録

- 1 「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の
使いかた……116
- 2 用語集……125
- 3 仕様一覧……130
- 4 設定記入シート……131

1 「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の使いかた

本商品の動作を設定する「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」について説明しています。

※「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」は、Windows®XP/2000/Me/98SEで本商品の動作を設定する場合に使用します。

アイコンの表示と状態

タスクトレイのアイコンによって、状態表示が以下のようになります。



→無線LANアクセスポイントに接続されていません。



→無線LANカードが挿入されていません。

無線LANアクセスポイントとの電波の状態は次のとおりです。



→電波（強い）



→電波（普通）



→電波（弱い）

タスクトレイに表示されるWeb Caster FT-STC-Kagユーティリティのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
ポップアップメニューでは次のことができます。

【Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ】：

Web Caster FT-STC-Kagユーティリティを起動します。

【終了】：

Web Caster FT-STC-Kagユーティリティを終了します。

お知らせ

タスクトレイに表示されているWeb Caster FT-STC-Kagユーティリティのアイコン上にマウスのカーソルを合わせると、無線状況が表示されます。

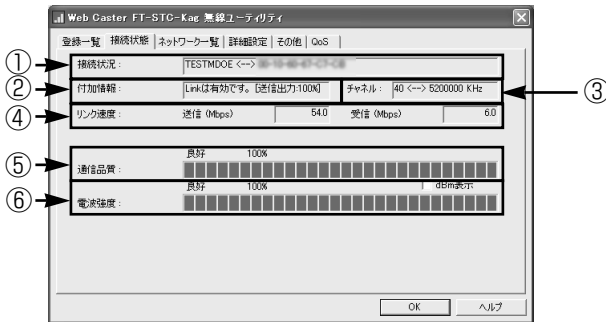
※Windows®XPをご利用の場合、タスクトレイ上に、Web Caster FT-STC-Kagユーティリティのアイコンの他に、OSのワイヤレスネットワーク接続アイコンが表示されます。そのアイコン上にマウスのカーソルを合わせると速度が表示されますが、実際に通信している速度ではなく、

IEEE802.11aモードで接続の場合	： 54.0Mbps
IEEE802.11gモードで接続の場合	： 54.0Mbps
IEEE802.11bモードで接続の場合	： 11.0Mbps

のように、接続されているモードに応じて固定的な値が表示されます。

■【接続状態】タブ

通信状態が表示されます。



①接続状況

無線通信の接続状態をSSID、MACアドレスで表示します。

『接続中の場合』 SSID <-> MACアドレスが表示されます。

『未接続の場合』 未接続です。

②付加情報

インフラストラクチャ通信またはアドホック通信時の送信設定が表示されます。

『接続中の場合』 Linkは有効です。[送信出力:100%]

『未接続の場合』 未接続です。

③チャンネル

接続しているチャンネルを表示できます。

『接続の場合』 チャンネル <-> GHz帯 (例) 40 <-> 5200000KHz

『未接続の場合』 表示されません。

④リンク速度

送信速度 (Mbps) と受信速度 (Mbps)を表示します。

『接続の場合』 送信速度 (例) 54.0

受信速度 (例) 6.0

『未接続の場合』 表示されません。

⑤通信品質

通信品質の高さを表します。

『接続の場合』 通信品質 (例) 良好 100%

『未接続の場合』 表示されません。

⑥電波強度

電波の強さを表示します。また、dBm表示のチェックボックスにチェックを入れることでdBm表示されます。

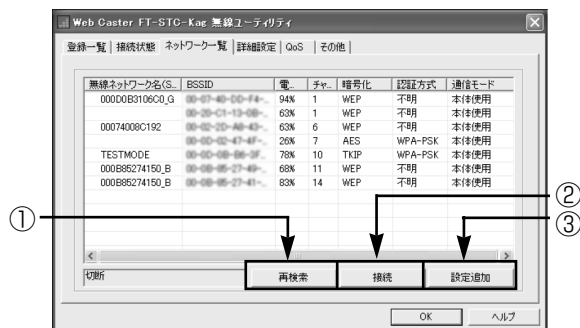
『接続時の場合』 電波強度 (例) 良好 -25dBm

『未接続の場合』 表示されません。

1 「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の使いかた

■「ネットワーク一覧」タブ

無線ネットワーク名（SSID）ごとに使用チャネル、無線状況などを一覧表示します。



①再検索

ネットワーク一覧の状態を更新することができます。

②接続

ネットワーク一覧で選択したネットワークに接続します。

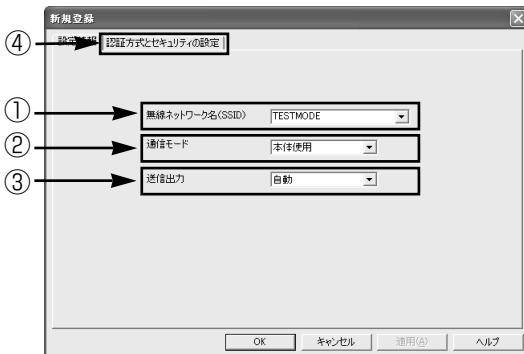
③設定追加

ネットワーク一覧で選択した無線ネットワーク名のSSIDと暗号化の設定を行います。

■ [登録一覧] タブ

● 新規登録するには

[登録一覧] タブをクリックし [追加] をクリックすると、下記の画面が表示されます。



① 無線ネットワーク名 (SSID)

無線ネットワーク名 (SSID) を設定します。

インフラストラクチャ通信の場合は、Web Caster V120の無線ネットワーク名 (SSID) に合わせてください。使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、(ハイフン) になります。また、アドホック通信の場合は、使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、(ハイフン)、(アンダースコア) になります。

② 通信モード

インフラストラクチャ通信、アドホック通信を選択します。

(設定)

本体使用→インフラストラクチャ通信

PC間直接通信 →アドホック通信

③ 送信出力

送信出力を指定できます。

(設定)

自動／100％／75％／50％／25％／10％／最低値

④ 続いて [認証方式とセキュリティの設定] タブをクリックします。

[認証方式とセキュリティの設定] タブ (→P121) へ進んでください。

1 「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の使いかた

●設定変更するには

「登録一覧」タブをクリックし、設定を変更したい登録名を選択します。「編集」をクリックすると、プロフィール編集の画面が表示されます。



設定を変更したら、「OK」をクリックします。



●お知らせ

- 設定を変更したあと通信が可能になるまで、1分程度かかる場合があります。

●削除するには

「登録一覧」タブをクリックし、削除したい登録名を選択します。「削除」をクリックすると削除されます。



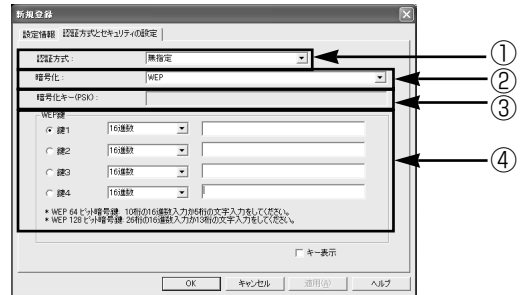
■【認証方式とセキュリティの設定】タブ

「登録一覧」タブをクリックし、「追加」をクリックし、「認証方式とセキュリティの設定」タブをクリックします。

●WPA-PSK (TKIP) の場合



●WEPの場合



①認証方式

認証方式を設定します。

設定項目→WPA-PSK、無指定

②暗号化

暗号化を設定します。

暗号化項目→WEP、TKIP、無し

③暗号化キー (PSK) WPA-PSKのみ

WPA-PSK(TKIP)の暗号化キー (PSK) を設定します。

- ・ 文字入力(ASCII)→8～63文字 「0～9、a～z、A～Z」
- ・ 16進数入力(HEX)→64文字 「0～9、a～f、A～F」

④WEP鍵 WEPのみ

WEPのWEP鍵を設定します。

鍵1～4に設定できます。

- | | | | |
|---------|--------------|------|---------------|
| 64ビット→ | 文字入力 (ASCII) | 5文字 | 「0～9、a～z、A～Z」 |
| | 16進数入力 (HEX) | 10文字 | 「0～9、a～f、A～F」 |
| 128ビット→ | 文字入力 (ASCII) | 13文字 | 「0～9、a～z、A～Z」 |
| | 16進数入力 (HEX) | 26文字 | 「0～9、a～f、A～F」 |

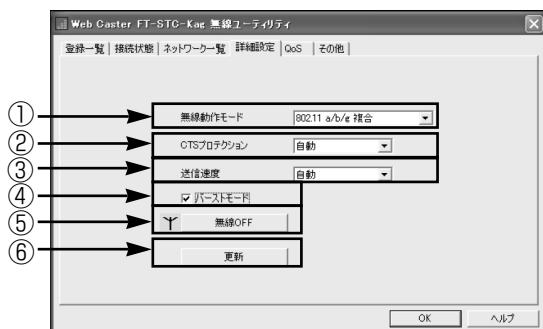
また使用する鍵番号をチェックします。

●お知らせ

- キー入力方式、使用する暗号化キー、鍵番号、キーの長さ、および入力するWEP鍵は、無線LAN内で統一する必要があります。

1 「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の使いかた

■【詳細設定】タブ



①無線動作モード

2.4GHz、5GHz帯の動作の範囲を設定します。

[設定]

802.11 b/g 複合

802.11 bのみ

802.11 aのみ

802.11 a/b/g 複合

②CTSプロテクション

IEEE802.11gとIEEE802.11bを一緒に使用すると干渉してしまうことがあるため、CTSプロテクションを自動またはONにすることにより電波干渉を防ぐことができます。

※ 無線動作モードの設定が、「802.11 b/g 複合」または「802.11 a/b/g 複合」の場合のみ設定が可能です。

[設定]

自動、ON、OFF

③送信速度

送信速度を指定することができます。

[設定]

・ IEEE802.11 b/g複合

自動/54Mbps/48Mbps/36Mbps/24Mbps/18Mbps/12Mbps/11Mbps/
9Mbps/6Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps

・ IEEE802.11 bのみ

自動/11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps

・ IEEE802.11 aのみ選択時

自動/54Mbps/48Mbps/36Mbps/24Mbps/18Mbps/12Mbps/9Mbps/6Mbps

・ IEEE802.11 a/b/g複合

自動/54Mbps/48Mbps/36Mbps/24Mbps/18Mbps/12Mbps/11Mbps/
9Mbps/6Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps

④バーストモード

バーストモードを有効または無効に設定します。

[設定]

チェックなし→無効

チェックあり→有効

⑤無線ON/OFF

無線機能のON、OFFを設定します。

[設定]

無線ON →緑

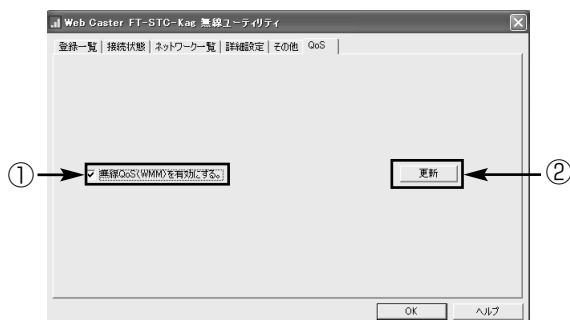
無線OFF→赤

⑥更新

更新ボタンをクリックすることで設定内容が更新されます。

1 「Web Caster FT-STC-Kagユーティリティ」の使いかた

■ QoS



① 無線QoS（WMM）を有効にする。

有効にすることで通信品質を向上させます。

〔設定〕

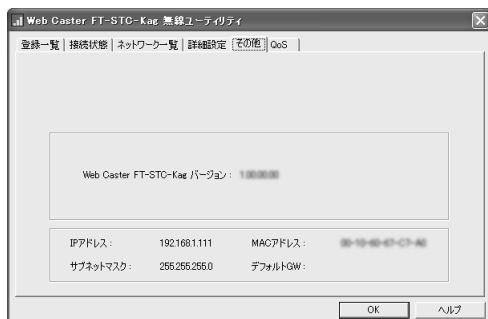
チェックなし→無効

チェックあり→有効

② 更新

更新ボタンをクリックすることで設定内容が更新されます。

■ その他



自IPアドレス、MACアドレス、サブネットマスク、デフォルトGWが表示されます。

ここでは、無線LANやTCP/IPネットワークで使用する用語について説明します。

無線LAN (IEEE802.11a/b/g) について

アドホック (Ad hoc)

無線LANアクセスポイントを使用せずに、無線LANカードだけで無線LANを構築する場合に使用します。アドホックモードでは、インフラストラクチャモードの無線LANカードや無線LANアクセスポイントとの通信はできません。半面、アドホックモードの端末のみが通信可能な小規模なネットワークを構築することで、インフラストラクチャモードに比べて、セキュリティを高めることができます。

インフラストラクチャ (Infrastructure)

インフラストラクチャモードでは、有線ネットワークと無線ネットワークを混在して使用できます。例えばパソコンに、本商品を接続し、無線LANアクセスポイントに既存の有線LANを接続します。この場合、本商品を接続したパソコンは、無線LANアクセスポイントに接続された有線LANや他の無線LAN端末との通信が可能となります。

使用チャンネル

無線LANで使用されるIEEE802.11で規定された電波の周波数帯域。複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、電波干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合があります。

その場合、なるべく各チャンネルごうしは11gの場合は6チャンネル、11bの場合は5チャンネル以上の間隔をあけての使用を推奨します。(例えば、1チャンネル、7チャンネル、13チャンネル等。)

無線LANアクセスポイント (Access Point)

無線LANアクセスポイントは、有線LANとインフラストラクチャモードに設定した無線LAN端末との通信の中継や、無線LANカードごうしの通信の管理を行います。無線LAN端末側に無線LANカードを設置する必要があります。

無線LANカード

インフラストラクチャモードに設定して無線LANアクセスポイントと対にして使用したり、アドホックモードに設定して無線LANカードだけで無線LANを構築したりできます。主にインフラストラクチャモードで使われることが多く、アドホックモードは小規模なネットワークで使用されます。

ANY接続

無線ネットワーク名 (SSID) を空欄に設定した場合に、接続できるアクセスポイントのなかで最も電波状態がよいアクセスポイントに接続する方法。

ESSID/SSID (Extended Service Set Identifier/Service Set Identifier)

無線通信する端末を論理的にグループ分けするための無線ネットワーク名。単一の無線ネットワークに属する端末にはすべて同じESSID/SSID (無線ネットワーク名) を設定して使用します。ESSID/SSID (無線ネットワーク名) は半角英数記号32文字以内で入力できます。

2 用語集

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

WPA-PSKで使用する暗号化方式の一つ。TKIPはWEPでも使用されているRC4という暗号化アルゴリズムを採用しています。

WEP (Wired Equivalent Privacy)

WEPを使用すると、無線通信中のデータを暗号化しデータの盗聴を防ぐことができます。WEPを使用していない場合は、データは暗号化されずに発信されるため、第三者が容易にその内容を知る恐れがあります。WEPではWEPキーに登録した内容と、WEPキーの番号が同じ端末間でデータを暗号化して通信を行うため、正しいWEPキーを知らないユーザは、データを盗聴してもその意味を知ることはできません。WEPには、64bit、128bit、152bitと、WEPキーのbit数により3種類のものがあり、WEPキーのbit数が大きいほど解読されにくいので安全性が高くなっています。セキュリティ上の理由からWEPを設定して使用することを推奨します。(本商品では64bit、128bitに対応しています。)

WPA-PSK (Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key)

WPAセキュリティ設定の認証方式の一つ。Pre-Shared Keyを使って認証を行いますので、認証サーバを用意しなくてもWPAセキュリティ設定を使用できます。WPA-PSKにはTKIPやAESなどの暗号化があります。

TCP/IPについて

ここでは、TCP/IPネットワークで使用する用語について説明します。

グローバルIPアドレス

インターネットに接続する端末は、必ず自分の居場所を特定するために、世界に同じものが二つとないIPアドレスを設定しなければなりません。そのIPアドレスをグローバルIPアドレスといいます。インターネットに接続するために必要なグローバルIPアドレスを使用するには、IPアドレスを管理している団体（JPNIC等）に申請し、そうした団体から使用の許可を得る必要があります。しかし通常の利用者はインターネット接続プロバイダ（ISP）と契約することで、ISPがそうした団体から取得したグローバルIPアドレスを使用してインターネットを利用します。

ゲートウェイアドレス（Gateway Address）

例えば同一ネットワーク上に存在しない端末や、別のネットワークにある端末に通信を行う場合、ゲートウェイと呼ばれる端末（一般にルータ等がこれにあたる。）にデータを転送します。このとき、どのゲートウェイに送ってよいかわからない場合は、デフォルトゲートウェイという一番代表的な端末へデータを転送します。一般に各端末にデフォルトゲートウェイだけを設定しておけば、後はそのデフォルトゲートウェイが判断して適宜ルーティングを行ってくれます。

サブネットマスク（Subnet mask）

IPアドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のこと。サブネットマスクは、通常上位から連続してビットを立てた値を用います。

お知らせ

- よく使われるサブネットマスクの一例は、次のとおりです。

サブネットマスク	割り当てIPアドレス個数	接続できる端末台数（最大）
255.255.255.0	256個	254台
255.255.255.240	16個	14台
255.255.255.248	8個	6台

プライベート（ローカル）IPアドレス

インターネットに直接接続しない環境で使用するIPアドレスをプライベート（ローカル）IPアドレスといいます。

プライベートIPアドレスを割り当てられた端末は直接インターネットに接続できないため、プライベートIPアドレスは、グローバルIPアドレスのように特定の団体の使用許可を得る必要がなく、誰でも自由に使用できます。ネットワーク内だけで端末を識別できればよく、グローバルIPアドレスを使用する必要がない環境でプライベートIPアドレスが使用されます。またプライベートIPアドレスが割り当てられた端末でも、ルータのNAT機能を使用すると間接的にインターネットにアクセスすることができます。

お知らせ

- よく使われるプライベートIPアドレスの一例は、次のとおりです。

192.168.1.1～192.168.1.254

192.168.0.1～192.168.0.254

ARP (Address Resolution Protocol)

IPアドレスをもとにMACアドレスを知るためのプロトコル。

ARP (Address Resolution Protocol) テーブル

TCP/IPのネットワーク機能を持つパソコンやルータ等には、一度通信を行った相手のIPアドレスとMACアドレスとの対応を記憶するARPテーブルという機能があります。これにより、どのIPアドレスを持つ端末がどのようなMACアドレスを持っているかを記録でき、通信相手のIPアドレスを知ること、固有のMACアドレスを持った端末に向けた通信ができます。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

通信機器に対して、IPアドレスやサブネットマスク等のネットワーク設定を自動的に割り当てるための機能。

DHCPサーバ (DHCP Server)

DHCP機能を持つサーバ。ルータ機能内蔵のADSLモデムや、ルータの中には、DHCPサーバ機能を持つものがあります。逆にDHCPサーバからのIPアドレスの割り当てを受ける端末のことをDHCPクライアントといいます。

DNS (Domain Name Service) サーバアドレス

ホスト名からIPアドレスを検索するために用いられる、DNSサーバに割り当てられたIPアドレス。

IPアドレス

TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク環境で、端末の場所を特定する住所のようなもの。32bitのアドレス情報で構成されており、インターネット等のTCP/IPネットワークで通信する端末にはすべてIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスは、インターネットに接続するために必要なグローバルIPアドレスと、インターネットへの直接接続ができないIPアドレスであるプライベート（ローカル）IPアドレスの2種類があります。

IPアドレスのクラスについて

IPアドレスは、ネットワークの規模や使用目的によりクラスA～Eに分けられます。通常クラスA～Cまでが使われ、クラスD、Eは特殊な用途で使用されます。主にクラスAは大規模ネットワーク用、クラスBは中規模ネットワーク用、クラスCは小規模ネットワーク用に使用されます。クラスCでは最大254台までの端末をネットワークに接続することができます。

MAC (Media Access Control) アドレス

EthernetのLANカード（NICとも呼ばれる）や無線LANカード等のネットワークアダプタに割り当てられた48bitのアドレス情報のこと。通常12桁の16進数であらわされます。このMACアドレスには、世界中のネットワークアダプタごとに固有の値が設定されるようになっており、ネットワークアダプタの製造者が製造時に、世界でただ一つのMACアドレスをカードに記録してから出荷します。前半の24bit（16進数6桁）が製造者固有のID番号で、後半の24ビット（16進数6桁）が各カードの連番となります。Ethernet等のネットワーク環境で、ネットワークアダプタを装着したハードウェアを特定するために使用され、物理アドレス、Ethernetアドレス等と呼ばれることもあります。

3 仕様一覧

Web Caster FT-STC-Kag

■ 仕様				
無線 LAN ポート	端末 インタフェース	PC Card Standard (Card Bus) スロットType II 準拠		
	規格	IEEE802.11a (W52) (W53)	IEEE802.11b	IEEE802.11g
	周波数帯域	5 GHz帯 (5150～5350 MHz)	2.4 GHz帯 (2400～2497 MHz)	2.4 GHz帯 (2400～2484 MHz)
	チャンネル	36、40、44、48、 52、56、60、64ch	1～14ch	1～13ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数 分割多重) 方式	DS-SS (スペクトラ ム直接拡散) 方式	OFDM (直交周波数 分割多重) 方式
	伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/ 12/9/6Mbps (自動)	11/5.5/2/1Mbps (自動)	54/48/36/24/18/ 12/9/6Mbps (自動)
	アンテナ	逆F型アンテナ (内蔵)		
	セキュリティ	SSID、WEP (128/64bit)、WPA-PSK (TKIP)		
ランプ表示		MODE (緑、青) 1個、ACT (青) 1個		
利用可能OS		Windows Vista®およびWindows®XP/2000/Me/98SE		
動作環境		温度：0～40℃ 湿度：20～85% (結露しないこと)		
外形寸法		約119 (W) × 54 (D) × 6 (H) mm (突起部分を除く)		
電源		DC 3.3V 最大350mA (パソコンから給電)		
消費電力		最大1.5W		
質量		約0.05kg		
電磁妨害波規格		VCCIクラスB		

※ 1 無線LANの規格値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

4 設定記入シート

ワイヤレスネットワークの設定

無線ネットワーク名 (SSID)

※SSIDはASCII文字（半角英数記号）1文字以上、32文字以内で設定してください。

通信モード

インフラストラクチャ通信（本体使用）＊

アドホック通信（PC間直接通信）

無線の暗号化

認証方式

無指定＊

WEP

WPA-PSK (TKIP) (アドホック通信 (PC間直接通信) の場合は使用できません。)

暗号化

無し＊

WEP

TKIP

暗号化キー (WEP)

入力方法

64bit＊

文字 (5桁)、16進 (10桁)

128bit

文字 (13桁)、16進 (26桁)

WEP鍵 (キーインデックス)

鍵1＊

鍵2

鍵3

鍵4

暗号化キー (PSK)

アドホック通信使用時の無線LAN設定

無線動作モード

使用チャネル

IEEE802.11aのみ

36、40、44、48

IEEE802.11bのみ

1～14

IEEE802.11gのみ

1～13

IEEE802.11a/b/g複合＊

1～13、36、40、44、48

IEEE802.11b/g複合

1～13、36、40、44、48

＊は初期設定を示します。

注 意

本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制対象貨物に該当いたします。

本商品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ（NTT東日本）： <http://web116.jp/ced/>

使い方等でご不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本端末機器の取り扱い、および設定方法に関するお問い合わせ

 0120 - 970413（9：00～21：00）

携帯電話・PHS・050 IP電話からご利用の場合

03 - 5667 - 7100（通話料金がかかります）

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンの接続・設定等に関するお問い合わせ

 0120 - 275466（24時間 年中無休）

携帯電話からご利用の場合（通話料金がかかります）

 0570 - 005202（24時間 年中無休）

●故障に関するお問い合わせ

 0120 - 242751（24時間 年中無休）

故障修理等の対応時間は 9：00～17：00

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。